

2 0 2 4 年 度

地方創生の取組概要

説 明 資 料

豊岡市 デジタルトランスフォーメーション推進部
経営企画課



地方創生の取組概要（目次）

I	2024年度 地方創生の戦略体系	7
II	2024年度 地方創生事業の手段別予算概要	8
III	2024年度 地方創生事業の戦略体系別取組概要	12

【戦略目的】 暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている		
01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	
	01-01 豊岡の良さが内外に伝わっている	
	No.1 情報戦略推進(広告・宣伝、「ひょうご・豊岡フェア」の開催、庁内情報発信業務)【継続】	13
	No.2 UIターン推進(飛んでるローカル豊岡、ジョブナビ豊岡、民間サイトでの発信)【継続】	15
	No.3 企業版ふるさと納税の獲得推進【継続】	17
	重複 (No.9)豊岡スマートコミュニティ推進機構	
	重複 (No.12)地域おこし協力隊の推進	
	重複 (No.24)観光事業(国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)	
	01-02 豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	
	No.4 UIターン推進(移住・就活イベントの出展及び開催)【継続】	18
	01-03 移住・定住を検討する人に情報が提供されている	
	No.5 UIターン推進(民間移住相談窓口業務等)【継続】	20
	重複 (No.12)地域おこし協力隊の推進	
02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている	
	02-01 働きがいがあり、働きやすい場が増えている	
	No.6 IT企業誘致推進【継続】	21
	No.7 スマート農業推進【継続】	23
	02-02 新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	
	No.8 内発型産業育成(ビジネス相談窓口、創業支援、豊岡市継業バンクの運用等)【継続】	24
	No.9 豊岡スマートコミュニティ推進機構【継続】	26
	No.10 新規就農総合支援【継続】	27
	No.11 豊岡農業スクール【継続】	28
	No.12 地域おこし協力隊の推進【継続】	29
	No.13 UIターン推進(若者施策)【拡大】	30

02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	
	No.14 豊岡靴ブランドPR推進【継続】	31
	重複 (No.7)スマート農業推進	
	重複 (No.29)コウノトリ育むお米ブランド化推進	
	02-04 市民が多様な人々を受け入れている	
	No.15 多文化共生推進【拡大】	33
	No.16 多様性推進【新規】	34
03	いきいきと暮らす女性が増えている	
	03-01 性別に関わらず地域での協働が進んでいる	
	No.18 ジェンダーギャップ解消推進【拡大】	37
	No.19 子育て広場管理【継続】	38
	No.20 ファミリーサポートセンター【継続】	39
	03-02 性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	
	重複 (No.18)ジェンダーギャップ解消推進	
重複 (No.19)子育て広場管理		
03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	
	No.21 ワークイノベーション推進【継続】	42
	No.22 子育て中の女性の就労促進【拡大】	43
04	豊岡で人々が世界と出会っている	
	04-01 世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	
	No.23 城崎温泉街交通環境改善【継続】	45
	No.24 観光事業(国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)【継続】	47
	No.25 観光まちづくり推進(専門人材の配置等)【継続】	48
	No.26 インバウンド誘客推進【継続】	49
	No.27 豊岡演劇祭協同開催【継続】	51
	No.28 文化観光推進【継続】	52
	04-02 メイドイン豊岡が世界に広がっている	
	No.29 コウノトリ育むお米ブランド化推進【継続】	54
	重複 (No.34)アーティスト・イン・レジデンス	

04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
	No.30	出石永楽館歌舞伎開催【継続】	56
	No.31	豊岡アートシーズン2024【継続】	57
	No.32	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催(豊岡アートシーズン2024参加)【継続】	59
	No.33	城崎国際アートセンター運営・事業(アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン2024参加等)【継続】	60
	No.34	アーティスト・イン・レジデンス【継続】	62
	No.35	演劇のまちづくり推進【継続】	63
		重複 (No.12)地域おこし協力隊の推進	
		重複 (No.15)多文化共生推進	
		重複 (No.27)豊岡演劇祭協同開催	
		重複 (No.36)専門職大学連携推進	
	04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	
		No.36	専門職大学連携推進【継続】
		重複 (No.27)豊岡演劇祭協同開催	
		重複 (No.40)英語教育推進	
05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている		
05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
	No.37	ふるさと教育推進【継続】	67
	No.38	おっとりっしゃ!とよおかのものづくり【継続】	68
05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている		
		重複 (No.37)ふるさと教育推進	
05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
	No.39	コミュニケーション教育推進【継続】	70
	No.40	英語教育推進【継続】	71
	No.41	非認知能力向上対策【継続】	72
	No.42	英語遊び保育推進【継続】	73

06	結婚したいと思う人が結婚できている	
06-01	若者が集い、交流する場が増えている	
	重複 (No.13) UIターン推進(若者施策)	
06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	
	No.43 出会い機会創出(はーとピー・民間イベント支援) 【拡大】	76
	重複 (No.13) UIターン推進(若者施策)	
06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	
	No.44 お見合い推進(縁むすびさん) 【継続】	78
	重複 (No.13) UIターン推進(若者施策)	
	重複 (No.43) 出会い機会創出(はーとピー・民間イベント支援)	

I 2024年度 地方創生の戦略体系

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている	
戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている	
	主要手段－具体的手段	2024年度事業(*関連する項目がある場合、〔重複〕で記載)
手段 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	
01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている	情報戦略推進(広告・宣伝、「ひょうご・豊岡フェア」の開催、庁内情報発信業務)、Uターン推進(飛んでるローカル豊岡、ジョブナビ豊岡、民間サイトでの発信)、関係人口の創出・拡大、コウノトリ野生復帰の取組み発信、企業版ふるさと納税の獲得推進、豊岡スマートコミュニティ推進機構〔重複〕、地域おこし協力隊の推進〔重複〕、観光事業(国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)〔重複〕
01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	Uターン推進(移住・就活イベントの出展及び開催)
01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	Uターン推進(民間移住相談窓口業務等)、地域おこし協力隊の推進〔重複〕
手段 02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている	
02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	IT企業誘致推進、スマート農業推進
02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている	内発型産業育成(ビジネス相談窓口、創業支援、豊岡市継業バンクの運用等)、豊岡スマートコミュニティ推進機構、新規就農総合支援、豊岡農業スクール、地域おこし協力隊の推進、Uターン推進(若者施策)
02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	豊岡靴ブランドPR推進、スマート農業推進〔重複〕、コウノトリ育むお米ブランド化推進〔重複〕
02-04	市民が多様な人々を受け入れている	多文化共生推進、多様性推進、定住推進(移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助、東京圏からの移住支援)、Uターン推進(民間移住相談窓口業務等)〔重複〕、地域おこし協力隊の推進〔重複〕、専門職大学連携推進〔重複〕
手段 03	いきいきと暮らす女性が増えている	
03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる	ジェンダーギャップ解消推進、子育て広場管理、ファミリーサポートセンター
03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	ジェンダーギャップ解消推進〔重複〕、子育て広場管理〔重複〕
03-03	ありがたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	ワークイノベーション推進、子育て中の女性の就労促進
手段 04	豊岡で人々が世界と出会っている	
04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	城崎温泉街交通環境改善、観光事業(国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)、観光まちづくり推進(専門人材の配置等)、インバウンド誘客推進、豊岡演劇祭協同開催、文化観光推進
04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	コウノトリ育むお米ブランド化推進、アーティスト・イン・レジデンス〔重複〕
04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	出石永楽館歌舞伎開催、芸術文化参与の設置、豊岡アートシーズン2024、子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催(豊岡アートシーズン2024参加)、城崎国際アートセンター運営・事業(アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン2024参加等)、アーティスト・イン・レジデンス、演劇のまちづくり推進、地域おこし協力隊の推進〔重複〕、多文化共生推進〔重複〕、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、専門職大学連携推進〔重複〕
04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	専門職大学連携推進、豊岡演劇祭協同開催〔重複〕、英語教育推進〔重複〕
手段 05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている	
05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている	ふるさと教育推進、おっとろっしゃ!とよおかのものづくり
05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	ふるさと教育推進〔重複〕
05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	コミュニケーション教育推進、英語教育推進、非認知能力向上対策、英語遊び保育推進
手段 06	結婚したいと思う人が結婚できている	
06-01	若者が集い、交流する場が増えている	Uターン推進(若者施策)〔重複〕
06-02	多種多様な出会いの機会が充実している	出会い機会創出(はーとピー・民間イベント支援)、Uターン推進(若者施策)〔重複〕
06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	お見合い推進(縁むすびさん)、Uターン推進(若者施策)〔重複〕、出会い機会創出(はーとピー・民間イベント支援)〔重複〕

Ⅱ 2024年度 地方創生事業の手段別予算概要

主要手段 (2桁)	具体的手段 (4桁)
【01】 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている	01 豊岡の良さが内外に伝わっている
	02 豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている
	03 移住・定住を検討する人に情報が提供されている
01手段小計(5事業) ※重複は除く	
【02】 多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている	01 働きがいがあり、働きやすい場が増えている
	02 新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている
	03 豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている
	04 市民が多様な人々を受け入れている
02手段小計(12事業) ※重複は除く	
【03】 いきいきと暮らす女性が増えている	01 性別に関わらず地域での協働が進んでいる
	02 性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている
	03 ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている
03手段小計(5事業) ※重複は除く	
【04】 豊岡で人々が世界と出会っている	01 世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる

(単位:千円)

事業No.	事業名	予算額	担当課
1	情報戦略推進(広告・宣伝、「ひょうご・豊岡フェア」の開催、庁内情報発信業務)	3,463	秘書広報課
2	Uターン推進(飛んでるローカル豊岡、ジョブナビ豊岡、民間サイトでの発信)	3,504	地域づくり課
3	企業版ふるさと納税の獲得推進	3,195	経営企画課、観光政策課
重複	(No.9)豊岡スマートコミュニティ推進機構事業	—	—
重複	(No.12)地域おこし協力隊の推進	—	—
重複	(No.24)観光事業(国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)	—	—
4	Uターン推進(移住・就活イベントの出席及び開催)	1,502	地域づくり課
5	Uターン推進(民間移住相談窓口業務等)	3,783	地域づくり課
重複	(No.12)地域おこし協力隊の推進	—	—
		15,447	
6	IT企業誘致推進	20,345	環境経済課
7	スマート農業推進	366	農林水産課
8	内発型産業育成(ビジネス相談窓口、創業支援、豊岡市継業バンクの運用等)	55,983	環境経済課
9	豊岡スマートコミュニティ推進機構	2,114	DX・行財政改革推進課
10	新規就農総合支援	56,539	農林水産課
11	豊岡農業スクール	13,232	農林水産課
12	地域おこし協力隊の推進	189,306	地域づくり課
13	Uターン推進(若者施策)	3,300	地域づくり課
14	豊岡靴ブランドPR推進	3,065	環境経済課
重複	(No.7)スマート農業推進	—	—
重複	(No.29)コウトリ育むお米ブランド化推進	—	—
15	多文化共生推進	8,874	地域づくり課
16	多様性推進	403	地域づくり課
17	定住推進(移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助、東京圏からの移住支援)	29,500	地域づくり課
重複	(No.5)Uターン推進(民間移住相談窓口業務等)	—	—
重複	(No.12)地域おこし協力隊の推進	—	—
重複	(No.36)専門職大学連携推進	—	—
		383,027	
18	ジェンダーギャップ解消推進	5,544	ジェンダーギャップ対策室
19	子育て広場管理	194	こども未来課
20	ファミリーサポートセンター	1,450	こども未来課
重複	(No.18)ジェンダーギャップ解消推進	—	—
重複	(No.19)子育て広場管理	—	—
21	ワークイノベーション推進	5,724	ジェンダーギャップ対策室
22	子育て中の女性の就労促進	5,887	ジェンダーギャップ対策室
		18,799	
23	城崎温泉街交通環境改善	433	建設課
24	観光事業(国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)	10,855	観光政策課
25	観光まちづくり推進(専門人材の配置等)	43,926	観光政策課
26	インバウンド誘客推進	28,946	観光政策課
27	豊岡演劇祭協同開催	45,327	観光政策課
28	文化観光推進	6,000	観光政策課

主要手段 (2桁)	具体的手段 (4桁)	
	02	メイドイン豊岡が世界に広がっている
	03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている
	04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている
04手段小計(14事業) ※重複は除く		
【05】 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている	01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている
	02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている
	03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる
05手段小計(6事業) ※重複は除く		
【06】 結婚したいと思う人が結婚できている	01	若者が集い、交流する場が増えている
	02	多種多様な出会いの機会が充実している
	03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している
06手段小計(2事業) ※重複は除く		
2024地方創生(44事業) 総計		
※参考 2023地方創生(49事業)		

事業No.	事業名	予算額	担当課
29	コウトリ育むお米ブランド化推進	—	農林水産課
重複	(No.34)アーティストインレジデンス	—	—
30	出石永楽館歌舞伎開催	90,261	出石振興局地域振興課
31	豊岡アートシーズン2024	9,787	文化・スポーツ振興課
32	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催(豊岡アートシーズン2024参加)	10,000	文化・スポーツ振興課
33	城崎国際アートセンター運営・事業(アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン2024参加等)	24,174	文化・スポーツ振興課
34	アーティスト・イン・レジデンス	12,712	文化・スポーツ振興課
35	演劇のまちづくり推進	2,000	観光政策課
重複	(No.12)地域おこし協力隊の推進	—	—
重複	(No.15)多文化共生推進	—	—
重複	(No.27)豊岡演劇祭協同開催	—	—
重複	(No.36)専門職大学連携推進	—	—
36	専門職大学連携推進	10,877	観光政策課
重複	(No.27)豊岡演劇祭協同開催	—	—
重複	(No.40)英語教育推進	—	—
		295,298	
37	ふるさと教育推進	3,620	学校教育課
38	おっとりっしゃ!とよおかのものづくり	400	環境経済課
重複	(No.37)ふるさと教育推進	—	—
39	コミュニケーション教育推進	508	学校教育課
40	英語教育推進	14,542	学校教育課
41	非認知能力向上対策	5,371	学校教育課
42	英語遊び保育推進	2,206	幼児育成課
		26,647	
重複	(No.13)Uターン推進(若者施策)	—	—
43	出会い機会創出(はーとピー・民間イベント支援)	2,050	地域づくり課
重複	(No.13)Uターン推進(若者施策)	—	—
44	お見合い推進(縁むすびさん)	2,584	地域づくり課
重複	(No.13)Uターン推進(若者施策)	—	—
重複	(No.43)出会い機会創出(はーとピー・民間イベント支援)	—	—
		4,634	
		743,852	※対前年比 95.7%
		(776,827)	

Ⅲ 2024 年度 地方創生事業の戦略体系別取組概要

1 豊岡市の地方創生を実現するための戦略体系（ロジック・モデル）

上位目的 (最終アウトカム)	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている
戦略目的 (中間アウトカム)	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている

【2040年の豊岡市の政策目標人口 ⇒ 62,165人】

- (1) 若者回復率（※10歳代の転出超過数に対し、20歳代の転入超過数が占める割合）
 - ・ 2015年「39.5%」⇒ 2025年までに「50%」に引き上げる
- (2) 合計特殊出生率（※1人の女性が生涯に持つ子どもの数）
 - ・ 2015年「1.82人」⇒ 2035年までに「2.3人」に引き上げる

（参考：若者回復率 ～2015年国勢調査時と2020年国勢調査時の比較～）

	2015年国勢調査 (2010→2015年)	2020年国勢調査 (2015→2020年)	
全体	39.5%	35.3%	(△4.2ポイント)
男	52.2%	41.6%	(△10.6ポイント)
女	26.7%	28.5%	(+1.8ポイント)

2 講ずべき施策に関する基本的方向

- (1) 豊岡に住む人々が「豊岡で暮らすことの価値と魅力」を改めて探り、認識する。
- (2) その価値と魅力をさらに高める。特に、これまで進めてきた「小さな世界都市—Local&Global City—」＝「ローカルであること、地域固有であることを通じて、世界の人々から尊敬され、尊重されるまち」の実現に向けた取組みを加速し、世界と直接に結ばれる中で豊岡の価値と魅力をさらに高める。
- (3) 豊岡で暮らすことの価値と魅力を若者や子どもたちに伝え、移住・定住を促し、共感して移住・定住をする若者を増やす。
- (4) 特に、若い女性を増やす対策を進める。
- (5) 以上の取組みによって「人口減少の量的緩和と地域社会・地域経済・地域文化のあり様の質的転換」を同時に図り、豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人々からなるまちとして豊岡を蘇らせ、地域活力の維持を図る。

「上位目的」（※最終アウトカム：豊岡市地方創生総合戦略において長期的に実現したい状態）を実現するために、「戦略目的」（※中間アウトカム：当面5年間程度で達成したい状態）を定め、戦略体系（ロジック・モデル）を立てている。

この戦略目的に、それぞれ主要手段と、その主要手段を実現するための具体的手段を定め、その下に具体的な取組みを配置している。

【主要手段01】 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

具体的手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている	2024年度 予算額	10,162 千円
-------	-------	-----------------	---------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
1	情報戦略推進 (広告・宣伝、「ひょうご・豊岡フェア」の開催、庁内情報発信業務)	3,463 千円	継続
2	UIターン推進 (飛んでるローカル豊岡、ジョブナビ豊岡、民間サイトでの発信)	3,504 千円	継続
3	企業版ふるさと納税の獲得推進	3,195 千円	継続
重複	(No.9) 豊岡スマートコミュニティ推進機構	(2,114 千円)	—
重複	(No.12) 地域おこし協力隊の推進	(189,306 千円)	—
重複	(No.24) 観光事業 (国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)	(10,855 千円)	—
合計		10,162 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	01-01	豊岡の良さが内外に知られている			
No.1	事業名	情報戦略推進 (広告・宣伝、「ひょうご・豊岡フェア」の開催、庁内情報発信業務)	2024年度 予算額	3,463 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡のまちの魅力が伝わり、観光客、移住者、交流人口が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 本市の認知度が低い東京（首都圏）を中心に情報発信を継続的に行い、本市の知名度を高め、観光客、移住者、交流人口の増加を図る。
- 本市来訪者の最大マーケットである関西圏の中心大阪市内で、本市の認知度を高めるイベントを実施し、本市への来訪を促すとともに、市の特産品などをPRする。
- 市職員の広報力を高めるとともに、各部署が横断的な連携を行うことで、全庁的に効率的かつ効果的な広報活動を推進する。

1 事業内容

- (1) 広告・宣伝業務【1,661 千円】

主要手段 01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

豊岡の魅力や先進的な取組みをテレビ局や出版業者等に取り上げてもらうように働きかけ、豊岡の認知度を高める。

- ア 首都圏メディアへの働きかけ
- イ メディア・雑誌による情報発信

(2) 「ひょうご・豊岡フェア」の開催【1,500 千円】

本市来訪者の最大マーケットである関西圏の中心大阪市内で、豊岡市の新たな魅力等をPRし、本市への誘客を図るとともに、特産品のPR・販売を行うためのイベントを開催する。

- ア 期間 2024年8月21日(水)～27日(火)
- イ 場所 あべのハルカス近鉄本店
- ウ 内容 観光「六面体豊岡」の紹介、豊岡の食の提供、豊岡鞆の紹介・販売等

(3) 庁内情報発信強化業務【302 千円】

市職員の広報力の向上を図るため、研修会を開催する。また、効果的かつ効率的な情報発信を目指し、広報戦略庁内連絡会を開催する。

- ア 広報力を高めるための職員研修会の開催
- イ 広報戦略庁内連携会の開催

2 事業期間

2009年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

3,463 千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：
交付対象額の 1/2）

担当課名【秘書広報課】（内線 2061）

手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている		
No. 2 事業名	U I ターン推進 (飛んでるローカル豊岡、ジョブナビ豊岡、民間サイトでの発信)	2024 年度 予算額	3,504 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

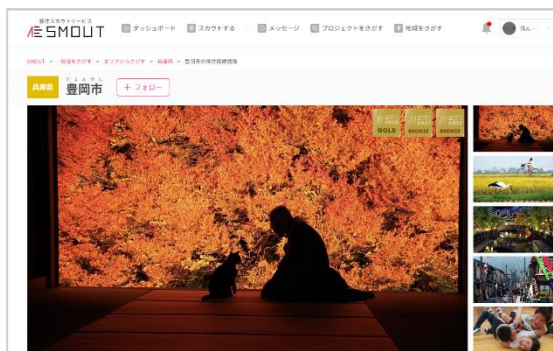
- 市民と協働して豊岡の魅力やリアルな暮らしなどの情報を発信することで、移住希望者のU I ターンへの意識が醸成されている。
豊岡での暮らしや楽しみ方を併せて仕事情報を発信することで、豊岡を巣立った人たちと繋がり、Uターン者が増える。

《事業目的（趣旨）》

- 市内外の人に、豊岡で暮らす価値や魅力を知ってもらうために継続的な情報発信を行う。また、移住を検討する際に必要な情報（暮らし・住まい・仕事等）を発信し、移住への興味関心を引くとともに、豊岡への移住意識を高める。
- 高校卒業後も途切れることなく豊岡に興味を持ち続けてもらえるような情報を発信することでUターンを促進する。

1 事業内容

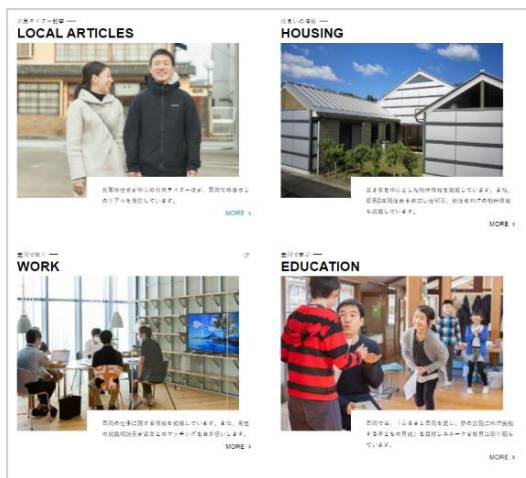
- (1) 移住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」等による情報発信【2,310千円】
市民ライターが豊岡のリアルな暮らしを記事やSNSで発信する。併せて、住まい、仕事、支援制度などの情報も発信する。
- (2) 移住ポータルサイトの運営【465千円】
「飛んでるローカル豊岡」及び「TOYOOKA WORK STYLE（ジョブナビ豊岡）」の保守管理及び修正・更新。
- (3) 民間サイトでの発信及びSNS広告【729千円】
 - ア 移住スカウトサービス「SMOUT」の活用
移住希望者や地域と関わりたい人と地域をつなぐウェブサービス「SMOUT（スマウト）」を活用し、市内で実施される各種プロジェクトへの参加やメッセージのやりとりを通して、移住者及び関係人口の増加を図る。
 - イ SNS広告等
「TOYOOKA WORK STYLE（ジョブナビ豊岡）」の認知度向上のため、企業情報や就職情報のSNS広告を配信する。



移住スカウトサービス「SMOUT」を活用した情報発信。
「SMOUT 移住アワード（人気移住地域ランキング）」では毎年上位に入賞。

主要手段 01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

- 2 事業期間
2016 年度～
- 3 事業主体
豊岡市
- 4 予算額（補助率・負担率等）
3,504 千円



移住ポータルサイト「飛んでるローカル豊岡」



仕事情報サイト「TOYOOKA WORK STYLE (ジョブナビ豊岡)」

担当課名【地域づくり課】（内線 2781）

主要手段 01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

手段	01-01	豊岡の良さが内外に伝わっている			
No. 3	事業名	企業版ふるさと納税の獲得 推進	2024 年度 予算額	3,195 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡のまちの魅力、取組みに共感する“豊岡ファン”が増え、“豊岡ファン”が自ら豊岡市の魅力を語り、世界中で豊岡の魅力が知られている。

《事業目的（趣旨）》

- 本市の人口減少の量的緩和及び地域活力維持の質的転換による地方創生をさらに推進するための財源を確保するとともに、本市の取組みに共感する企業を増やすため、企業版ふるさと納税の獲得に向けた取組みを強化する。

1 事業内容

(1) 企業版ふるさと納税の獲得

深さをもった演劇のまちづくり、ジェンダーギャップの解消等、本市が進める地方創生の取組みに共感する企業に対して、企業版ふるさと納税支援サービス等を活用して積極的にアプローチを行うなど、企業版ふるさと納税の獲得に向けた取組みを強化する。

2 事業期間

2020 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

3,195 千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：
交付対象額の 1/2）

担当課名 【経営企画課】（内線 2081）
【観光政策課】（内線 2321）

具体的 手段	01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている	2024年度 予算額	1,502千円
-----------	-------	-----------------------	---------------	---------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
4	U I ターン推進 (移住・就活イベントの出展及び開催)	1,502千円	継続
合計		1,502千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	01-02	豊岡を巣立った人たちが豊岡とつながっている		
No. 4	事業名 U I ターン推進 (移住・就活イベントの出展及び開催)	2024年度 予算額	1,502千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 市民と協働して豊岡の魅力やリアルな暮らしなどの情報を発信することで、移住希望者のU I ターンへの意識が醸成されている。
豊岡での暮らしや楽しみ方を併せて仕事情報を発信することで、豊岡を巣立った人たちと繋がり、Uターン者が増える。

《事業目的（趣旨）》

- 市内外の人に、豊岡で暮らす価値や魅力を知ってもらうために継続的な情報発信を行う。また、移住を検討する際に必要な情報（暮らし・住まい・仕事等）を発信し、移住への興味関心を引くとともに、豊岡への移住意識を高める。
- 高校卒業後も途切れることなく豊岡に興味を持ち続けてもらえるような情報を発信することでUターンを促進する。

1 事業内容

- (1) 就活イベントの開催【500千円】
市内企業の合同企業説明会を開催する（3月）
- (2) 移住、就活イベントへの出展【540千円】
潜在的な移住希望者が多い都市圏（東京・大阪）での移住イベントや大学主催の就活イベント等に出展し、豊岡の価値や魅力、仕事情報を伝え、豊岡への来訪や移住につなげる。
- (3) はたちを祝う会の公式LINEで式典終了後も継続して豊岡市の情報を発信する。
【462千円】

2 事業期間

2016年度～

主要手段 01 豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,502千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：
交付対象額の1/2）



昨年度の合同企業説明会の様子



はたちを祝う会公式 LINE

担当課名【地域づくり課】（内線 2781）

具体的手段	01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている	2024年度 予算額	3,783 千円
-------	-------	------------------------	---------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
5	UIターン推進 (民間移住相談窓口業務等)	3,783 千円	継続
重複	(No.12) 地域おこし協力隊の推進	(189,306 千円)	—
合計		3,783 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細(以下、事業ごとの説明)】

手段	01-03	移住・定住を検討する人に情報が提供されている		
No.5 事業名	UIターン推進 (民間移住相談窓口業務等)	2024年度 予算額	3,783 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像(姿)》

- 豊岡市への移住を検討する人に寄り添い、移住定住に結び付ける。

《事業目的(趣旨)》

- 移住希望者が求める情報を的確に提供する。

1 事業内容

- (1) 市ワンストップ窓口の設置【301千円】
移住希望者への「暮らし・住まい・仕事等」の情報提供やマッチングを行うワンストップ窓口の設置。
- (2) 民間移住相談窓口の設置【3,482千円】
移住相談と現地案内等の業務の一部を民間へ委託し、夜間及び休日での対応を行うなど、行政と連携・協力して移住を推進する。



2 事業期間

2016年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額(補助率・負担率等)

3,783千円(デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ) 補助率: 交付対象額の1/2)

民間移住相談窓口
「暮らしのパラー」

担当課名【地域づくり課】(内線2781)

具体的 手 段	02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている	2024 年度 予算額	20,711 千円
------------	-------	----------------------	----------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
6	I T 企業誘致推進	20,345 千円	継続
7	スマート農業推進	366 千円	継続
合計		20,711 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている			
No. 6	事業名	I T 企業誘致推進	2024 年度 予算額	20,345 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 若者、特に女性が働きたいと思う企業が増え、U I ターン者が増加している。

《事業目的（趣旨）》

- 若者や女性が働きたい職場となることが期待される I T 企業等を誘致するため、自治体と地方進出を検討する企業とのオンラインによるマッチングイベントを活用した誘致活動を展開する。

1 事業内容

(1) オンライン方式による I T 企業誘致活動【5,043 千円】

- ア 自治体との協働事業を希望する事業者や、地方にサテライトオフィス等の開設を検討する事業者をターゲット企業に設定する。
- イ オンラインマッチングイベント（※）への参加によりターゲット企業へ接触し、市内誘致に向けた視察ツアーを実施するなど、市との関係性を構築する。
※地方へのビジネス参入を検討する企業と、I T 企業等のサテライトオフィス誘致を目指す自治体が、オンライン上で面談するイベント
- ウ ターゲット企業が有する技術を活用できる地域課題や、市内立地に興味を引くような施設・人物等の記事を WEB ライターが作成して SNS で発信する。
- エ 地域課題の解決をターゲット企業にビジネスチャンスと捉えてもらうことで誘致につなげる。
- オ 上記のア～エを円滑に実施するため、ターゲット企業選定に係る指導・助言、市内視察ツアーのアテンド、ターゲット企業の市内進出における課題整理等への支援について業務委託を行う。

(2) IT関連事業所の開設等に対する支援【14,149千円】

ア IT関連事業所開設支援補助金

市内に新たにIT関連の事業所を開設、または新規雇用を伴う事業拡大により移転等を行う事業者に対し、経費の一部を支援する。

対象経費	補助率(※1)	限度額
①賃借料	1/4以内	30万円/年
②通信回線使用料		
③建物改修費		50万円(※2)
④事務機器取得費		25万円
⑤人件費(※3)	定額	100万円/年
⑥プロジェクト経費(※4)	1/2以内	100万円/年

期間 ①②⑤⑥3年間(36カ月)、③④開設時1回

※1 別途県補助あり(補助率①～④1/4、⑤定額(上限100万円)、⑥市単独補助)

※2 空き家等利用する場合は100万円

※3 高度IT技術者に係る経費に限る

※4 地域課題を解決するために市と協働で取り組む新製品、サービスの開発及び実証実験に要する経費

(3) コワーキングスペース開設支援事業補助金【1,153千円】

市内での起業拠点を創出するとともに、テレワーク・副業等の多様な働き方に対応するため、コワーキングスペースを新たに開設する事業者等に対し経費の一部を支援する。

対象経費	補助率(※1)	限度額	
		運営支援型	整備支援型
①建物改修費(※2)	1/4以内	50万円	250万円
②事務機器取得費		25万円	25万円
③賃料		30万円/年	—
④通信回線使用料			—
⑤人件費(※3)	定額	50万円/年	—

期間 ①②開設時1回、③④⑤3年間(36か月)

※1 県随伴補助(県補助率①～④1/4、⑤定額(上限50万円))

※2 空き家等利用する場合は運営支援型100万円、整備支援型300万円

※3 高度IT技術者に係る経費に限る

2 事業期間

2016年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

20,345 千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：
交付対象額の 1/2）

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

手段	02-01	働きがいがあり、働きやすい場が増えている			
No. 7	事業名	スマート農業推進事業	2024 年度 予算額	366 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ICT（情報技術）や IoT（モノのインターネット）を活用し、省力化や高品質生産等の農業を目指す。

《事業目的（趣旨）》

- 低コスト機器を導入して、コウノトリ育む農法の水管理省力化を実証するとともに、水田センサーの設置によって、水位及び水温データを取得・活用することで、収量及び品質向上を図る。

1 事業内容

コウノトリ育む農法による無農薬栽培を行う水田等に、市が保有する水田センサー及び低コスト水管理機器を設置し、「水管理省力化の検証」と「栽培管理データの蓄積」を行う。

2 事業期間

2020 年度～

3 事業主体

豊岡市、農業者等

4 予算額（補助率・負担率等）

366 千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：
交付対象額の 1/2）



担当課名【農林水産課】（内線 2361）

具体的 手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジ する人が増えている	2024年度 予算額	320,474 千円
-----------	-------	-----------------------------	---------------	------------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
8	内発型産業育成 (ビジネス相談窓口、創業支援、豊岡市継業バンクの運用等)	55,983 千円	継続
9	豊岡スマートコミュニティ推進機構	2,114 千円	継続
10	新規就農総合支援	56,539 千円	継続
11	豊岡農業スクール	13,232 千円	継続
12	地域おこし協力隊の推進	189,306 千円	継続
13	UIターン推進(若者施策)	3,300 千円	拡大
合計		320,474 千円	

【事業別の詳細(以下、事業ごとの説明)】

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている			
No. 8	事業名	内発型産業育成 (ビジネス相談窓口、創業支援、 豊岡市継業バンクの運用等)	2024年度 予算額	55,983 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像(姿)》

- 新たな事業や経営革新に取り組む意欲がまちに広がり、地域内で相乗効果が生まれ、市内企業が成長する環境が作られている。また、新たな事業に挑戦する人が増え、地域経済の担い手として活躍している。

《事業目的(趣旨)》

- 成長を目指す企業、市内で創業に取り組む者を支援することにより、地域経済を活性化させる。

1 事業内容

- (1) ビジネス相談窓口「IPPO TOYOOKA(イッポトヨオカ)」の運営【8,067千円】

市内における創業希望者や市内事業者を対象にしたビジネス相談窓口を運営する。

ア ビジネスに関する総合相談

事業の立ち上げや高度化に必要な助言、事業計画策定の支援等を行う。

イ 外部専門家アドバイザー派遣相談

ニッチ分野や企業会計・財務等の専門性の高い相談を対象に、必要に応じて外部専門家アドバイザーを派遣し、IPPO 相談員と連携した専門相談を行う。



▲ビジネス相談に応じる IPPO 相談員

ウ ビジネスセミナーの開催

創業に関心のある方、創業間もない方及び市内事業者等を対象にビジネスセミナーを開催し、起業や事業のヒント、新たなつながりの機会を提供する。

(2) 補助制度【45,000 千円】

ア 豊岡市創業支援補助金

市内で創業・事業承継を行う際に必要となる経費を支援する。

イ 豊岡市ステップアップ支援補助金

具体的な目標（営業利益や付加価値等）を掲げ、成長を目指す市内事業者の新製品開発、販路拡大等に要する経費を支援する。

補助金	対象	商工団体の 伴走支援	補助率及び 補助額	対象経費
創業支援補助金	市内創業、事業承継予定者	必須	1/3 以内（※1） 上限 100 万円	事業所開設費、設備導入費、広告宣伝費等
ステップアップ支援補助金	市内事業者		1/2 以内（※2） 上限 200 万円	設備導入費、事業所工事費、展示会出展費、WEB 制作費等

※1 若者（45 歳以下の者）及び女性は補助率 2 分の 1

※2 環境経済事業を推進する事業は補助率 3 分の 2

(3) 豊岡市創業支援等事業計画に基づく事業等【2,916 千円】

ア 市内商工団体、金融機関及び士業団体で構成する連絡会議の開催

イ 豊岡市継業バンク（図参照）による事業承継の推進

市内事業者の事業承継ニーズを掘り起こし、事業の譲り受けを希望する方に対して適切に情報を提供し、事業承継マッチングをサポートする。



▲事業承継マッチングサイト「豊岡市継業バンク」

2 事業期間

2019 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

55,983 千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：
交付対象額の 1/2）

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.9 事業名	豊岡スマートコミュニティ推進機構	2024年度 予算額	2,114 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 「疎」の非効率と弱点をテクノロジーでカバーし、人々が多様性を受け入れ、フラットにつながり支え合う「スマートコミュニティ」が実現している。

《事業目的（趣旨）》

- 第5次行財政改革大綱の取組みの柱である「(1)公共サービスが多様な人たちによって創造されている」を実現する仕組みの1つをつくる。

1 事業内容

「スマートコミュニティ」の実現に向け、デジタル等を活用し地域課題の改善・解決を図るための各種取組みを推進するとともに、公共サービスの市民との共創に取り組む。

(1) 既存事業の更なる推進

- ア データを活用した交通安全教室
- イ 福祉モビリティ
- ウ 子育てなどに便利な情報の収集・共有ができるアプリの開発

(2) 市民の「これをやって、地域課題を解決したい」想いを次のとおり支援し、地域課題の改善・解決と当該者の自己実現を図る。

- ア 多様な人々が集まるコミュニティづくり
- イ 課題の改善・解決に向けアイデア出し、仲間づくりを行うイベントの実施
- ウ サービス実装化の支援（事業化、デジタルの活用等）

2 事業期間

2020年度～

3 事業主体

豊岡スマートコミュニティ推進機構

4 予算額（補助率・負担率等）

2,114千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：
交付対象額の1/2）

担当課名【DX・行財政改革推進課】（内線 2041）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている			
No.10	事業名	新規就農総合支援	2024年度 予算額	56,539 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 新規就農者及び農業経営者を確保し、将来にわたり農業が持続可能な産業となっている。

《事業目的（趣旨）》

- 市内で農業経営を行う認定新規就農者（18歳以上45歳未満）を対象に、経営開始直後の資金や、農業設備の導入経費を支援する。また、市外からの転入者（豊岡農業スクール研修生を含む）には家賃補助を行う。市内で就農する際の経費負担を軽減することで、若者の移住及び農業への定着を推進する。

1 事業内容

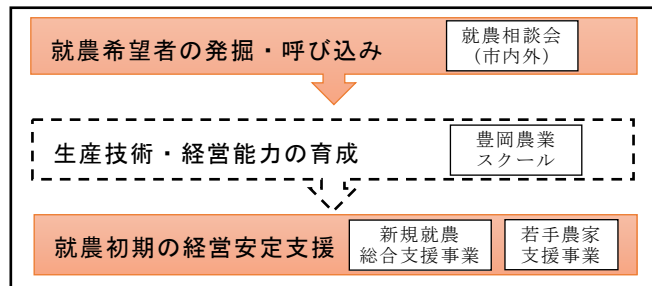
- (1) 就農希望者の掘り起こし
市内就農の魅力を伝えるパンフレットの作成。
市内外の相談会で、市内農業の魅力を発信し、担い手の確保につなげる。
- (2) 新規就農者の経営開始への支援
 - ア 新規就農総合支援事業
 - (ア) 農業次世代人材投資資金
1人あたり最高150万円/年の資金を最長5年間交付する。
 - (イ) 経営開始資金
1人あたり最高150万円/年の資金を最長3年間交付する。
 - (ウ) 経営発展支援事業
経営開始1～2年目の設備導入に対し、経費の3/4以内を補助する。
(上限750万円。経営開始資金と併用する場合は上限375万円。採択制)
※上記(ア)は2021年度以前の受給開始者、(イ)及び(ウ)は2022年度以降の受給開始者が対象。
 - イ 若手農家支援事業
 - (ア) 農業用機械等整備費助成事業
設備導入経費の1/2以内を補助する(上限300万円)。
 - (イ) 家賃補助事業
市に転入する新規就農者等に家賃の1/2以内を補助する(上限3万円/月)。

2 事業期間

2015年度～

3 事業主体

豊岡市



4 予算額（補助率・負担率等）

56,539千円（新規就農総合支援事業補助金（10/10）42,767千円）

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.11	事業名 豊岡農業スクール	2024年度 予算額	13,232 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 新規就農者及び農業経営者を確保し、将来にわたり農業が持続可能な産業となっている。

《事業目的（趣旨）》

- 市内での就農を目指す者を対象に、希望する農業分野に応じて、市内の先進的な農業経営者のもとで生産や経営の技能を習得する研修制度を実施する。また、水稻や大豆等、広大な農地を必要とする土地利用型経営体（集落営農組織等）の後継者不足も顕著であるため、研修先並びに卒業後の就農先としてのマッチングを図る。
2023年度から2032年度までを豊岡農業スクール第2期として位置づけ、年5人を募集し、10年間で50人の人材育成を目標とする。

1 事業内容

(1) 農業研修の実施（市認定農業者連絡協議会に委託）

- ア 研修時間 年 1,800 時間程度（実地研修、座学研修、就農計画作成）
- イ 研修期間 1年間（2024年4月1日から2025年3月31日まで）
※更新により1年間延長可（最長2年間）
- ウ 研修生の募集人数 年5人
- エ 研修生の年齢要件 なし

(2) 就農準備資金（国 10/10）

- スクール研修生を対象に、1人あたり最高150万円/年の資金を交付する。
※就農予定時の年齢が50歳未満である等、国の要件を満たす者が対象。

<参考> 2022年度末までに25人が卒業して市内で就農し、水稻、野菜、畜産、果樹等の分野で活躍している。

2 事業期間

2013年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

13,232千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：
交付対象額の1/2）
（就農準備資金（国10/10）12,000千円）

担当課名【農林水産課】（内線 2361）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている			
No.12	事業名	地域おこし協力隊の推進	2024年度 予算額	189,306 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 地域おこし協力隊制度を活用して着任した隊員が、地域の課題解決に取り組むことで地域の活性化に繋がっている。また、活動期間を満了した隊員が市内で起業するなど、地域に定住している。

《事業目的（趣旨）》

- 総務省の「地域おこし協力隊」制度を活用し、新たな視点や発想により、地域の活性化や課題解決を図るとともに、隊員期間（最長3カ年）終了後の定着による移住者増加を目指す。

1 事業内容

- (1) 隊員活動の推進
- (2) 隊員の起業支援
- (3) 新規隊員の募集
- (4) 「おためし地域おこし協力隊」制度（※）を活用した実地体験等の実施
- (5) 「地域おこし協力隊インターン」制度（※）を活用した実地体験等の実施
※応募検討者が事前に現地で活動体験を行う際に、滞在費用等を支援する制度
「おためし」は2泊3日以上、「インターン」は2週間以上の活動体験
- (6) 隊員の活動サポートと勤怠管理

2 事業期間

2014年度～

3 事業主体

豊岡市



4 予算額（補助率・負担率等）

189,306 千円

- (1) 隊員活動経費 166,970 千円
(継続 30名 108,946 千円 + 新規 15名 57,444 千円 + 全体管理経費 580 千円)
- (2) 隊員の起業支援 16,000 千円 (補助率 1/2、上限 200 万円)
- (3) 新規隊員の募集 3,000 千円
- (4) おためし協力隊の実施 1,000 千円
- (5) インターンの実施 336 千円
- (6) 隊員の活動サポート 2,000 千円

担当課名【地域づくり課】（内線 2781）

手段	02-02	新たな事業や仕事にチャレンジする人が増えている		
No.13 事業名	U I ターン推進 (若者施策)	2024 年度 予算額	3,300 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 若者の交流を促進し、定住率の向上を図る。

1 事業内容

若者の居場所づくり事業を実施する。

(1) 外部専門家（地域再生マネージャー）の活用【851 千円】

外部専門家（地域再生マネージャー）を招聘し、若者施策についてアドバイスを受ける。また、下記(2)(3)のコーディネートを行う。

(2) 若者の居場所づくり（ワークショップ・拠点整備）【2,009 千円】

若者ワークショップを開催し、市内に多様な居場所をつくるための具体的なアイデアを出し、具現化していく。

既に実施した若者会議での意見から、駅近くの空き物件を一つ目の居場所として改修し、拠点とすることを想定しながら居場所づくりを進めていく。

(3) 若者交流イベントの開催【440 千円】

市内企業に就労している若者を対象とした交流イベントを年2回程度実施する。

2 事業期間

2021 年度～

3 事業主体

豊岡市



豊岡若者会議 2023 の様子

4 予算額（補助率・負担率等）

3,300 千円（（一社）地域総合整備財団〈ふるさと財団〉の地域再生マネージャー事業補助金 補助率：補助対象経費の 2/3）

担当課名【地域づくり課】（内線 2781）

具体的手段	02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている	2024年度 予算額	3,065 千円
-------	-------	----------------------	---------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
14	豊岡靴ブランドPR推進	3,065 千円	継続
重複	(No.7) スマート農業推進	(366 千円)	—
重複	(No.29) コウノトリ育むお米ブランド化推進	(— 千円)	—
合計		3,065 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	02-03	豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている		
No.14	事業名	豊岡靴ブランドPR推進	2024年度 予算額	3,065 千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 靴産業を強化することによって、豊岡の強みを活かして稼ぐ力が高まっている。

《事業目的（趣旨）》

- 「豊岡靴」ブランドの価値を向上させる取組みを支援することにより、基盤産業である靴産業の振興を図る。

1 事業内容

(1) 豊岡靴ブランドPR推進事業

兵庫県靴工業組合が「豊岡靴」ブランドの価値向上のために実施する下記の事業に対して補助を行う。

- ア KITTE 丸の内店を起点とした豊岡靴のPR戦略・販売強化事業
- イ 海外販路拡大支援
- ウ SDGs 関連商品（廃漁網再生素材の靴）取組支援
- エ インターナショナルギフトショーの出展事業

(2) 「豊岡靴」東京展示会の開催支援（年2回、KITTE 丸の内店地下1階）

2 事業期間

2006年度～

3 事業主体

兵庫県鞆工業組合、豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

3,065 千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：
交付対象額の 1/2）



廃漁網再生素材で作られた鞆



廃漁網再生素材商品の認定マーク

担当課名【環境経済課】（内線 2301）

具体的手段	02-04	市民が多様な人々を受け入れている	2024年度 予算額	38,777 千円
-------	-------	------------------	---------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
15	多文化共生推進	8,874 千円	拡大
16	多様性推進	403 千円	新規
17	定住推進（移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助、東京圏からの移住支援）	29,500 千円	継続
重複	(No.5) UIターン推進 (民間移住相談窓口業務等)	(3,783 千円)	—
重複	(No.12) 地域おこし協力隊の推進	(189,306 千円)	—
重複	(No.36) 専門職大学連携推進	(10,877 千円)	—
合計		38,777 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

手段	02-04	市民が多様な人々を受け入れている			
No.15	事業名	多文化共生推進	2024年度 予算額	8,874 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 多様な人々が地域や職場の一員として活躍している

《事業目的（趣旨）》

- 「暮らしやすいと感じている外国人市民が増えている」状態を達成するため、ライフステージに応じた情報提供・継続的な支援と、外国人市民も活躍できる取組みを推進する。

1 事業内容

- (1) 外国人市民相談窓口の設置
多言語相談員を配置し、転入者等に豊岡市で生活するために必要な情報の提供を行うとともに、窓口での手続きのサポートや相談受付等を行う。
- (2) 子育て支援総合拠点での外国人市民交流事業及び研修会等開催
ア 多文化交流サロンの開催（委託）
外国人市民へ生活オリエンテーションや多文化理解の交流事業等を実施する。

- イ 多文化共生のための研修会開催
外国にルーツを持つ子どもに関する研修ややさしい日本語講座等を開催する。
- (3) 多言語化等によるコミュニケーション支援及び生活支援
 - ア 市役所業務での多言語対応
映像通訳、翻訳アプリを設置し、多言語での情報提供や相談対応を図るとともに、申請書類、生活情報等を多言語（やさしい日本語を含む）に翻訳し提供する。また、市の事業へ外国語通訳ボランティアを派遣する。
 - イ 在住外国人コミュニケーション支援事業（補助）
日本語教室の開設運営、受講者の生活相談等を実施する団体に補助を行う。
 - ウ 転入者等対象の初級日本語教室の開催（委託）【新規】
日本語学習機会の充実を図るため、無料の初級日本語教室を開催する。
- (4) 多文化共生推進プランの事業推進
関係機関等から構成される「多文化共生推進会議」でプランの進捗管理を行う。

2 事業期間
2019 年度～

3 事業主体
豊岡市



多文化交流サロンの様子

4 予算額（補助率・負担率等）
8,874 千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：
交付対象額の 1/2）
（市町日本語教育体制づくり事業補助金 補助率：交付対象額の 1/2）

担当課名【地域づくり課】（内線 2741）

手段	02-04	市民が多様な人々を受け入れている		
No.16 事業名	多様性推進	2024 年度 予算額	403 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 多様性の価値が理解され、まちづくりや経済活動の中で多様な人々がいきいきと活動している

《事業目的（趣旨）》

- 基本構想の主要手段 4「多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風がまちに満ちている」に関する事業を総合的に推進する。

1 事業内容

これまで実施してきたジェンダーギャップ解消の推進、男女共同参画の推進、多文化共生の推進等に加え、性的マイノリティ等新たな人権課題の研究を行い、総合

的に多様性推進を図るため、アドバイザーを招聘し庁内検討委員会を設置する。

2 事業期間

2024 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

403 千円

担当課名【地域づくり課】（内線 2741）

手段	02-04	市民が多様な人々を受け入れている			
No.17	事業名	定住推進 （移住者等への支援、学生向けシェアハウス整備補助、東京圏からの移住支援）	2024 年度 予算額	29,500 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 移住定住を検討する方々に寄り添い、移住定住に結び付く体制が機能している。

《事業目的（趣旨）》

- 移住検討段階から移住に至るまでの継続した支援により、移住検討者の意欲を高め、移住を促進する。また、地域が移住者を受け入れ、定住につなげる気運を醸成する。

1 事業内容

(1) 移住への各ステージに応じた支援【13,900 千円】

ア 移住検討者に対する支援（豊岡市移住促進支援補助金）【600 千円】

- (ア) 航空運賃（補助率定額 1 人当たり片道 4,000 円）
- (イ) 宿泊費（補助率定額 大人 2,000 円/人、子ども 1,000 円/人）
- (ウ) レンタカー借受費用（補助率定額 3,000 円/日）

イ 移住に係る支援（豊岡市定住促進事業補助金）【13,000 千円】

- (ア) 引越し費用（補助率 10/10 上限 200 千円）
- (イ) 住宅（空き家）改修費（補助率 2/3、上限 1,000 千円）
- (ウ) 賃貸用空家の清掃費等（補助率 10/10 上限 100 千円）

ウ 移住後の生活支援【300 千円】

コウノトリ育む農法のお米（10 kg）贈呈

(2) 空き家等を活用した学生向けシェアハウス整備補助金【12,600 千円】

市内の空き家を対象として、学生向けシェアハウスの整備に要する経費の一部を補助する。

主要手段 02 多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている

- ア 建物改修補助上限：3,000 千円×3 件
- イ 耐震改修補助上限：1,200 千円×3 件

(3) 東京圏からの移住支援金【3,000 千円】

国の制度を活用し、東京圏からの移住者に移住支援金を交付する。

世帯移住：1,000 千円+子 1,000 千円×2 人（※）

※18 歳未満の世帯員を帯同して移住する場合一人あたり 1,000 千円加算

2 事業期間
2010 年度～

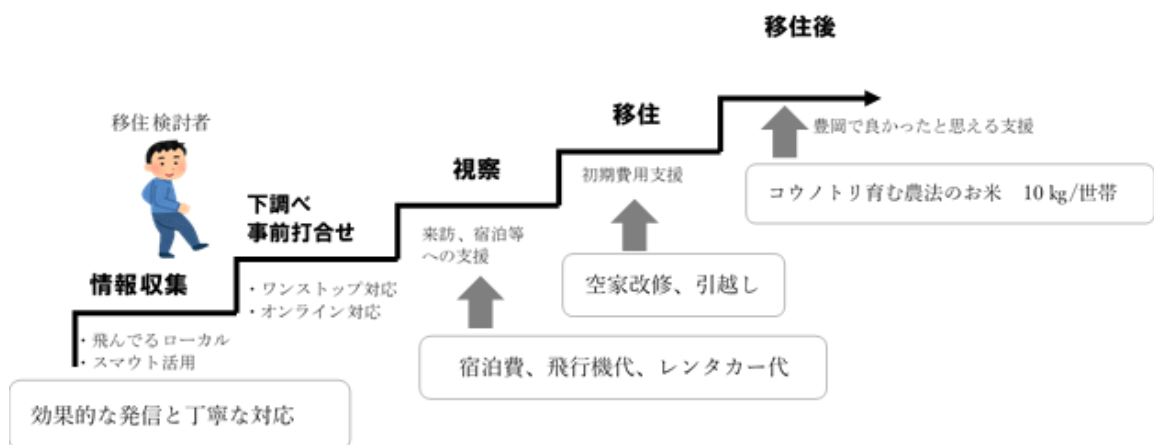
3 事業主体
豊岡市



飛んでるローカル豊岡の空き家物件情報

4 予算額（補助率・負担率等）

29,500 千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：
交付対象額の 1/2）



担当課名【地域づくり課】（内線 2781）

具体的 手 段	03-01	性別に関わらず地域での協働が 進んでいる	2024 年度 予算額	7,188 千円
------------	-------	-------------------------	----------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
18	ジェンダーギャップ解消推進	5,544 千円	拡大
19	子育て広場管理	194 千円	継続
20	ファミリーサポートセンター	1,450 千円	継続
合計		7,188 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.18 事業名	ジェンダーギャップ解消推進	2024 年度 予算額	5,544 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 固定的な性別役割分担を前提とした仕組みや慣習が見直され、お互いを尊重し支え合いながら、いきいきと暮らしている。

《事業目的（趣旨）》

- 「豊岡市ジェンダーギャップ解消戦略」（2021年3月策定）に基づき、まち全体のジェンダーギャップの解消に向けた取組みを推進するとともに、ジェンダーギャップ解消の必要性を認識し自分ごととして捉え、行動する市民を増やす。

1 事業内容

- (1) 戦略の進行管理・ジェンダー視点の主流化推進
市民主体の戦略会議（委員 10 人）、市職員による庁内推進委員会（委員 12 人）を開催し、戦略の進行管理を行うとともに、専門家の助言を受けながらジェンダー視点のある政策等の実施に向けた取組みを推進する。
- (2) 市民の理解拡大と意識・行動変革の促進
地域コミュニティ組織（モデル地区）、教員、幼稚園教諭・保育士などを対象に地域啓発推進アドバイザーによる研修・ワークショップを実施する。
- (3) 豊岡みらいチャレンジ塾 2024 の開催
政策・方針決定過程への女性や若者の参画機会の拡大を図るため、女性を対象とした人材育成プログラムを実施する。（3年目）
- (4) ジェンダーなど多様性をテーマにしたオリジナル絵本の完成発表会 【新規】
～子どものころからのジェンダー・多様性教育を考える～

主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

- ・保育者・教育者向け説明会（子育て中の方などこのテーマに関心のある方を含む）、アドバイザー・絵本作家等トークショー、絵本原画展示
- ・親子読み聞かせ会

(5) 市民向け（地域）意識啓発動画の制作【新規】

2 事業期間

2019 年度～2030 年度

3 事業主体

豊岡市



豊岡みらいチャレンジ塾 2023

4 予算額（補助率・負担率等）

5,544 千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：
交付対象額の 1/2）

担当課名【ジェンダーギャップ対策室】（内線 2095）

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.19 事業名	子育て広場管理	2024 年度 予算額	194 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 小さな子どもも安心して遊べる子育て広場に親子が訪れ、まちに賑わいが生まれる。子育て世代を身近に感じることで、市民の子育て世代への応援の機運が高まっている。

《事業目的（趣旨）》

- 子育て世代による子育て広場の利用促進を図るとともに、住民の手により適切に管理することで、まちの子育て応援の機運を高める。

1 事業内容

子どもが安心して遊べ、子育て中の世代とまちの人がいっしょに憩う広場を市内 6 か所に設置している。

市が管理している豊岡子育て広場(豊岡市役所前)を除く 5 か所の子育て広場は、地域の「子育て広場芝生化実行委員会」が、除草、施肥等の維持管理を行う。

2 事業期間

2017 年度 ～

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
194 千円



担当課名【こども未来課】（内線 2571）

手段	03-01	性別に関わらず地域での協働が進んでいる		
No.20 事業名	ファミリーサポートセンター	2024 年度 予算額	1,450 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 地域で子育て支援を行うことで、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

《事業目的（趣旨）》

- ファミリーサポートセンターは、仕事の都合などで子どもの送迎や預かりの支援を受けたい保護者（おねがい会員）と、支援を行いたい者（まかせて会員）による会員組織である。

市が事務局となり、保育施設等への送迎や、一時的な子どもの預かりなどを有償ボランティアの形態で会員同士が相互援助することにより、働きながら子育てがしやすい環境をつくる。

1 事業内容

- (1) 会員同士による相互援助活動を行う。活動を円滑に進めるため専任のアドバイザーを配置し、会員のマッチングを行う。
- (2) 会員募集、会員研修、会員交流事業、会報誌の発行を行う。また、SNS を利用した情報発信を行う。

※2017 年 4 月センター設立。同年 7 月から相互援助活動を開始。

会員数 369 人（2023 年 12 月 31 日現在）

おねがい会員	225 人
まかせて会員	67 人
どっちも会員	77 人

主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

2 事業期間

2017 年度 ～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

1,450 千円（国補助金 補助率：基準額の 1/3）
（県補助金 補助率：基準額の 1/3）



担当課名【こども未来課】（内線 2571）

主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

具体的 手 段	03-02	性別に関わらず夫婦が家庭内で支えあっている	2024 年度 予算額	— 千円
------------	-------	-----------------------	----------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
重複	(No.18) ジェンダーギャップ解消推進	(5,544 千円)	—
重複	(No.19) 子育て広場管理	(194 千円)	—
合計		— 千円	

※重複は合計から除く

具体的手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている	2024年度 予算額	11,611 千円
-------	-------	----------------------------	---------------	-----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
21	ワークイノベーション推進	5,724 千円	継続
22	子育て中の女性の就労促進	5,887 千円	拡大
合計		11,611 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている			
No.21	事業名	ワークイノベーション推進	2024年度 予算額	5,724 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ありたい姿に向かって、いきいきと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 女性も働きやすく、働きがいを感じる事業所を増やすことを通じた職場のジェンダーギャップ解消と、これを切り口としたまち全体のジェンダーギャップの解消を目指す。
そのことを可視化することによって、若い女性のU I ターンの増加や定着につなげる。

1 事業内容

(1) 市民の理解拡大

まち全体のジェンダーギャップ解消に取り組むために、まずは職場を切り口とした事業所の取組み状況などをわかりやすく市民に伝え、理解拡大につなげる。

(2) 経営者、管理職等の意識改革、行動改革

ア 豊岡市ワークイノベーション推進会議会員事業所を中心に優良事例発表、職場見学、意見交換などの機会を設け、事業所が抱える具体的な課題解決を図る。

イ 女性管理職向けに、モチベーションやスキル向上、職場を越えたネットワーク形成を支援するセミナーを開催する。

ウ 若手従業員向けに、仕事と家事・育児について考える機会を提供する。

(3) 従業員のキャリア形成、ネットワーク形成支援

市内事業所の従業員向けに、キャリアやありたい姿について考え、家事育児へ

主要手段 03 いきいきと暮らす女性が増えている

の参画の意義、ロジカルシンキング等を学ぶセミナーを開催する。

また、個別の悩みや問題などを多様な知識・経験を有する専門家、地域で活躍するロールモデルなどに相談できる機会を設ける。

(4) 先進事業所の可視化と他の事業所への波及

女性にも働きやすく、働きがいが高い水準に達している事業所の表彰を行う。

2 事業期間

2018年～2027年度

3 事業主体

豊岡市



豊岡市ワークイノベーション推進会議 2023

4 予算額（補助率・負担率等）

5,724千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【ジェンダーギャップ対策室】（内線 2095）

手段	03-03	ありたい姿に向かっていきいきと働ける機会が増えている		
No.22 事業名	子育て中の女性の就労促進	2024年度 予算額	5,887 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子育てをしながら、自分らしくいきいきと働く女性が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 働きたい女性を対象にデジタルマーケティング人材等を育成するとともに、出口戦略（就職・起業支援等）にもあわせて取り組み、「デジタルスキル」を身につけて、いきいきと働く女性のロールモデルを示す。
- 子育て支援総合拠点等施設において、子育て中などの働きたい女性の就労支援や活動支援に取り組む。

1 事業内容

(1) 働きたい女性向けのデジタルマーケティング人材とプログラミング人材の育成及び出口戦略

実績を持つIT人材育成の女性講師陣による5カ月間の講義（オンデマンド方式）と2カ月間の市内企業へのインターンシップ、さらにキャリア相談や起業・就職相談を実施しながら、デジタルマーケティング人材（10人程度）を育成する。

さらに、育成したデジタルマーケティング人材については、ハローワーク豊岡、ワークイノベーション推進会議、IPPO TOYOOKA など関係団体と連携しながら就労

先の確保や起業支援に取り組む。

また、女性向けのプログラミング人材（3人程度）の育成についても、市内のIT企業と連携しながらトライアルで新たに取り組む。

- (2) WACCU TOYOOKA（わっく とよおか）内のみらい応援 Room での子育て中などの女性の就労・活動支援

アイティ4階のみらい応援 Room において、WACCU TOYOOKA（わっく とよおか）内の子どもの一時保育機能を活用しながら、関係機関・団体等と連携して、就職相談をはじめ起業相談、お金と未来の相談、キャリア相談等の開設や関連セミナーの開催など、子育て中などの働きたい女性の就労支援や活動支援に総合的に取り組む。

また、女子中高生向けにIT分野に興味を持ってもらうきっかけとして「プログラミング体験キャンプ」をNPO法人Waffleと一緒に実施する。【拡大】

- 2 事業期間 2021年度～2030年度

- 3 事業主体

豊岡市（協力機関・団体：ハローワーク豊岡、IPPO TOYOOKA、但馬銀行など）

- 4 予算額（補助率・負担率等）

5,887千円

（内閣府地域女性活躍推進交付金（デジタル人材・起業家育成支援型） 補助率：交付対象額の3/4）

（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：交付対象額の1/2）

担当課名【ジェンダーギャップ対策室】（内線 2095）

具体的 手 段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる	2024 年度 予算額	135,487 千円
------------	-------	-----------------------	----------------	------------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
23	城崎温泉街交通環境改善	433 千円	継続
24	観光事業 (国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)	10,855 千円	継続
25	観光まちづくり推進 (専門人材の配置等)	43,926 千円	継続
26	インバウンド誘客推進	28,946 千円	継続
27	豊岡演劇祭協同開催	45,327 千円	継続
28	文化観光推進	6,000 千円	継続
合計		135,487 千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.23	事業名	城崎温泉街交通環境改善	2024 年度 予算額	433 千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 城崎温泉街で、観光客や地域住民が安心・安全にそぞろ歩きができる環境を整える。

《事業目的（趣旨）》

- 城崎温泉街の中心部では、道路が狭いため車や歩行者が輻輳し、慢性的に渋滞が発生していることから、観光客や地域住民の安全確保が課題となっている。
この課題を解決し、城崎温泉街のそぞろ歩きの魅力を高めるために、城崎温泉街の交通環境を改善する。

1 事業内容

- (1) 城崎温泉独自の交通ルール「そぞろ歩きルール」の啓発活動
- (2) 桃島バイパスを活用した交通迂回策の検討協議

主要手段 04 豊岡で人々が世界と出会っている

2 事業期間

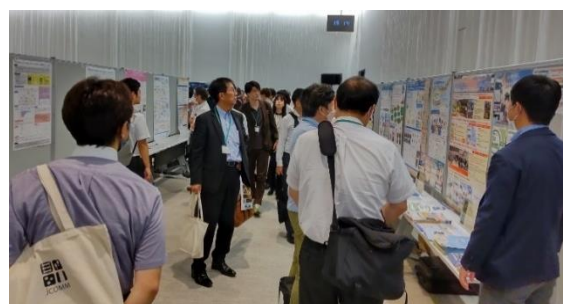
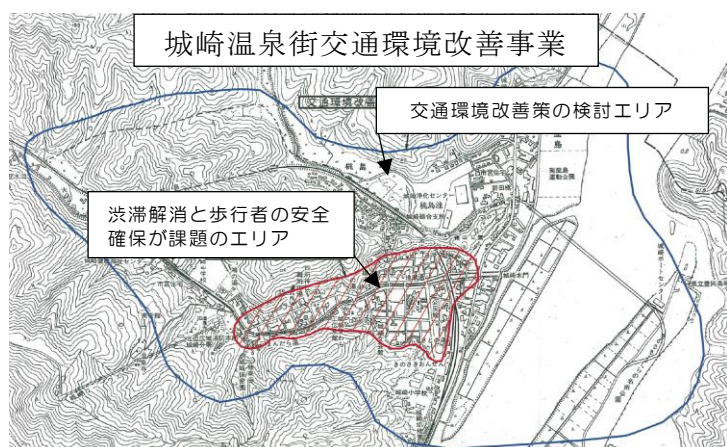
2015 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

433 千円



栃木県宇都宮市で開催された「日本モビリティ・マネジメント会議」に出席し、城崎温泉交通環境改善協議会の取り組み事例を発表した。
(2023年9月22、23日)

担当課名【建設課】（内線 2421）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.24 事業名	観光事業 (国内誘客推進、観光施策評価データ収集等)	2024年度 予算額	10,855 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡の魅力が多くのメディアに取り上げられ、「豊岡のローカル」が外部から高い評価を得ることで、自分たちが暮らすまち“豊岡”の魅力を再認識し、自信と誇りをもって暮らす人が増えている。
- 客観的データに基づく科学的な観光地マーケティングが機能し、観光による地域への経済効果が拡大している。
- 多様なニーズへの対応が可能で、より多くの「豊岡ファン」が創出されている。

《事業目的（趣旨）》

- 国内外のテレビ、雑誌等への露出や旅行商品の造成につなげる。
- 観光に関する様々なデータを活用し、地域への経済波及効果を高める。
- 大交流ビジョンの実現に向けて、「国内誘客促進強化のための情報発信戦略」に基づき、認知向上と誘客促進を図る。

1 事業内容

(1) メディア・旅行エージェント招聘事業【3,000千円】

国内外のテレビ・雑誌・WEB サイト等の編集者、インフルエンサー、旅行エージェントなどを対象に、市の取組みや観光地の取材とメディア掲載を増やしていくため、招聘者の取材地までの費用負担、取材先調整、取材同行を行う。

(2) 観光施策に係る評価指標データ収集業務【2,970千円】

来訪者の動態、動向を多角的に把握、分析するため、携帯電話ネットワークの仕組みを利用して、本市への来訪者の定量分析調査を行う。

(3) 「TOYOOKA_CITY_Free_Wi-Fi」公衆無線 LAN 運用業務【660千円】

公衆無線 LAN サービスに必要な通信設備、関連設備の運用並びに保守管理、電波状況の監視を行う。

(4) 国内誘客推進（豊岡観光イノベーション負担金）【4,225千円】

ア 国内 WEB マーケティング

地域の事業者と連携して開発したコンテンツ、特集記事、市内のイベント情報の掲載等、サイト内回遊を意識した観光公式サイトの運営、対象を絞った広告の運用など、WEB・SNSを活用したマーケティングを行うことにより、旅の目的地・滞在先としての認知向上、再来訪や市内周遊による滞在時間の延長を促進する。

イ 来訪者アンケート調査

本市における観光振興施策を評価し、PDCA サイクルを実行するための指標データを収集し、分析したデータを地域等で活用できるように公開する。

2 事業期間

2015 年度～

3 事業主体

- (1) 豊岡ツーリズム協議会
- (2)(3) 豊岡市
- (4) 一般社団法人豊岡観光イノベーション

4 予算額（補助率・負担率等）

10,855 千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：
交付対象額の 1/2）

担当課名【観光政策課】（内線 2321）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.25 事業名	観光まちづくり推進 （専門人材の配置等）	2024 年度 予算額	43,926 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 一般社団法人豊岡観光イノベーションを中心に市民や幅広い産業、関係団体が相互に連携しながら「大交流モデル」を推進することで「大交流ビジョン」が実現している。

《事業目的（趣旨）》

- 民間企業で培った専門的な知識や経験、人脈を持った人材や、マーケティング等の専門的知見を有する専門家をアドバイザーとして配置し、「大交流ビジョン」の推進を図る。また、「大交流ビジョン」の推進体制の中心に位置づけた一般社団法人豊岡観光イノベーション（以下、TTI）のプロパー人材の配置を支援する。また、TTI の体制を強化するため、市からの職員派遣（2023 年度に増員）を継続する。

1 事業内容

(1) 企業人配置【17,734 千円】

専門的な知見を有する民間企業の人材を配置する。

- ア 西日本旅客鉄道株式会社（2024 年 5 月 31 日まで）
- イ 全但バス株式会社
- ウ 日本航空株式会社
- エ ※派遣依頼調整中

(2) 事業強化負担金【26,192 千円】

- ア アドバイザーの配置

主要手段 04 豊岡で人々が世界と出会っている

データの分析および活用や、外国人誘客向け情報発信等における専門的な知識と経験を有する専門家をアドバイザーとして配置する。

イ プロパー人材の配置

豊岡観光イノベーションにおけるプロパー人材を配置する。

ウ 市職員の派遣

2 事業期間

2015 年度～

3 事業主体

(1) 豊岡市

(2) 一般社団法人豊岡観光イノベーション

4 予算額（補助率・負担率等）

43,926 千円

（企業人配置は、総務省「地域活性化起業人制度」を活用）

担当課名【観光政策課】（内線 2321）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる			
No.26	事業名	インバウンド誘客推進	2024 年度 予算額	28,946 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 対象市場における豊岡の認知度が高まり、海外の人々が豊岡の観光情報を容易かつ的確に取得できる環境が整備されている。その結果、本市を訪れる外国人観光客が増加し、来訪者の満足度が向上している。

《事業目的（趣旨）》

- 対象市場において、豊岡市の認知度を向上するとともに、海外の人々に対して豊岡の魅力を的確に伝え、本市への誘客につなげる。

1 事業内容

(1) 豊岡市外国語版ホームページ管理業務【2,159 千円】

外国語版 WEB サイト「Visit Kinosaki」の適切な保守管理を行い、情報発信や宿泊予約が可能な体制を整備し、外国人宿泊者の獲得につなげる。

(2) インフォメーションカウンター運営委託業務【3,506 千円】

城崎温泉ツーリストインフォメーション（SOZORO）を、外国人観光客の拠点施設として活用し、インフォメーション機能の強化及び着地型ツアーの販売促進により、平均泊数、滞在時間、周遊エリア数を増加させる。

加えて、国内外の来訪者へのアンケート調査・入力集計業務によりマーケティングの基礎データを収集する。

(3) 外国人スタッフ配置事業（JETプログラム）【3,281千円】

インバウンド誘客を進めるため、CIR（国際交流員）を配置し、情報発信と受入体制整備を行う。

(4) 海外誘客推進（豊岡観光イノベーション負担金）【20,000千円】

ア 豊岡市外国語版ホームページ運用業務

豊岡市外国語版ホームページ「Visit Kinosaki」のWEBマーケティングに取り組み、サイト訪問者を増加させ、アフターコロナの旅の目的地として認知度を高めるとともに、サイト流入者データ、SNS発信による効果を収集・分析し、インバウンドマーケティングに活用する。

イ 豊岡市外国語版ホームページコンテンツ制作業務

英語やフランス語、繁体字のWEBコンテンツを整備し、豊岡の認知を高めるとともに、対象国の人々に効果的に情報を提供し、当地域への訪問につなげる。

ウ 海外市場向け広告運用事業

観光の目的地としての城崎温泉/豊岡市をいまだ知らない人に認知してもらうとともに、既訪問者等には城崎温泉/豊岡市を忘れないように再訪を促進する。適切な対象の設定と来訪を促すキーワード設定により、観光地のブランド価値を高める。（英語・繁体字でのWEB広告運用）

エ 海外プロモーション事業

海外メディアに定期的に情報を配信し、メディア露出につなげることで、当地域の認知度を高める。また、旅行会社に情報を配信することにより、ファムトリップ（現地視察ツアー）につなげると共に、旅行商品造成を促進する。

(ア) 国内外商談会への出展（VJTM（VISIT JAPAN トラベル & MICE マート）、台湾大商談会）

(イ) タイ市場への情報発信

(ウ) 海外旅行会社やメディアへのメールマーケティング

オ 観光レップ事業

米仏と台湾の3つの対象市場に向けて、メディアへの情報発信や旅行会社へ商品造成の営業を行う「観光レップ」拠点を海外現地に設置し、当地域の認知度を高めるとともに、誘客を促進する。

カ 高付加価値ツーリズム推進事業

高付加価値ツアーの商品化促進及び受入環境整備（ガイド養成、持続可能な観光に関するセミナー実施）を行う。

キ 万博インバウンド誘客

大阪・関西万博が開催される2025年に向けて、万博のテーマに合わせたWEBサイト作成やツアー造成、万博出展国の関係者向けファムトリップ（現地視察ツアー）を実施し、外国人観光客誘客に向けた準備を進める。万博期間中は、地域の認知度向上、ブランド化に繋げ、その後の着実な集客につなげていく契機とする。

主要手段 04 豊岡で人々が世界と出会っている

2 事業期間

2013 年度～

3 事業主体

- (1)～(3) 豊岡市
- (4) 一般社団法人豊岡観光イノベーション

4 予算額（補助率・負担率等）

28,946 千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：
交付対象額の 1/2）

担当課名【観光政策課】（内線 2321）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる			
No.27	事業名	豊岡演劇祭協同開催	2024 年度 予算額	45,327 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡演劇祭が演ずる者、観る者のいずれにとっても価値のある場所となり、世界中から人々が訪れている。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡市を国内外にアピールし、ブランドイメージの構築に寄与する。
また、演劇祭をまちづくりの課題解決に向けたトライアルの場と位置づけ、演劇祭を通じた持続可能なまちづくりを図る。

1 事業内容

(1) 豊岡演劇祭の開催支援

ア 豊岡演劇祭 2024

- (ア) 日程 2024 年 9 月 12 日（木）～23 日（月・振休）（予定）
- (イ) 会場 城崎国際アートセンター、江原河畔劇場、豊岡市民プラザ 他
- (ウ) 演目 公式プログラム、FRINGEプログラム、連携プログラム 他

(2) 豊岡演劇祭実行委員会の運営

ア 総会の開催、事務局業務

2 事業期間

2019 年度～

3 事業主体

豊岡市及び豊岡演劇祭実行委員会

4 予算額（補助率・負担率等）

45,327 千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：
交付対象額の 1/2）



豊岡演劇祭 2023 『ナイトマーケット』
©トモカネアヤカ



豊岡演劇祭 2023 『私のかもめ』
©igaki photo studio

担当課名【観光政策課】（内線 2321）

手段	04-01	世界中から人々が来訪し、豊岡を楽しんでいる		
No.28 事業名	文化観光推進	2024 年度 予算額	6,000 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 豊岡のローカルをさらに磨きあげることによって文化の振興、観光の振興、地域の活性化の好循環が生まれている。

《事業目的（趣旨）》

- 「小さな世界都市-Local & Global City-」の実現に向け、本市の文化資源である“深さをもった演劇のまちづくり”を推進し、豊岡の突き抜けた価値を創造する。

1 事業内容

(1) 但東地域交流プログラム「但東さいさい」事業【4,000 千円】

国内でも稀に見るほど多くの舞堂(歌舞伎舞台)が現存する但東地域において、舞台芸能を再考し新たな文化観光資源へと昇華させるため、地域の方々とワークショップを行い、神楽作品の公演を行う。

(2) 玄武洞公園ライトアップの実施【2,000 千円】

「自然を見せる屋外ミュージアム」をコンセプトにした玄武洞公園で、幻想的なライトアップを実施することにより、玄武洞公園の魅力を発信し集客につなげる。

主要手段 04 豊岡で人々が世界と出会っている

2 事業期間

2021 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

6,000 千円（文化芸術振興費補助金 補助率 2/3）



但東さいさい
Photo : bozzo



玄武洞ライトアップ

担当課名【観光政策課】（内線 2321）

具体的手段	04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている	2024 年度 予算額	— 千円
-------	-------	-------------------	----------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
29	コウノトリ育むお米ブランド化推進	— 千円	継続
重複	(No.34) アーティスト・イン・レジデンス	(12,712 千円)	—
合 計		— 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】

手段	04-02	メイドイン豊岡が世界に広がっている		
No.29	事業名	コウノトリ育むお米ブランド化推進	2024 年度 予算額	— 千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 環境創造型農業により、農村に子供たちの笑顔があふれ、農村は活気に満ちている。

《事業目的（趣旨）》

- 環境創造型農業の柱である「コウノトリ育む農法」で栽培されたお米のブランド化を図り、市場経済に認められた持続可能な農業を振興する。

1 事業内容

海外の消費者にコウノトリ育む農法で栽培されたお米の特徴や価値を理解・共感いただくため、海外向け情報発信を展開する。

※豊岡市外国語版 HP「Toyooka City Global Site」にコウノトリ育む農法ページを掲載(2020 年度から公開済)。

2 事業期間

2012 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

コウノトリ育む農法推進事業費の中で一体的に取り組む。

担当課名【農林水産課】（内線 2361）



Creating stark-friendly environments drives production of delicious rice
Natural beauty x gastronomy

具体的 手 段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている	2024 年度 予算額	148,934 千円
------------	-------	----------------------------	----------------	------------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
30	出石永楽館歌舞伎開催	90,261 千円	継続
31	豊岡アートシーズン 2024	9,787 千円	継続
32	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催(豊岡アートシーズン 2024 参加)	10,000 千円	継続
33	城崎国際アートセンター運営・事業(アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン 2024 参加等)	24,174 千円	継続
34	アーティスト・イン・レジデンス	12,712 千円	継続
35	演劇のまちづくり推進	2,000 千円	継続
重複	(No.12) 地域おこし協力隊の推進	(189,306 千円)	—
重複	(No.15) 多文化共生推進	(8,874 千円)	—
重複	(No.27) 豊岡演劇祭協同開催	(45,327 千円)	—
重複	(No.36) 専門職大学連携推進	(10,877 千円)	—
合計		148,934 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細(以下、事業ごとの説明)】 _____

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている			
No.30	事業名	出石永楽館歌舞伎開催	2024年度 予算額	90,261 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 全国の歌舞伎ファンが、永楽館歌舞伎の観劇を楽しみにしている。
- 多くの市民が、わが町の歌舞伎公演として公演の運営に参画している。

《事業目的（趣旨）》

- 出石永楽館は、近畿最古の芝居小屋であるとともに、上方歌舞伎の舞台様式を残した数少ない劇場でもある。
2008年の復原後開催した柿落し公演から、上方歌舞伎の俳優・片岡愛之助さんを座頭に毎年公演を開催し続けている。また、演目についても上方の様式にこだわって演出している。
全国から来られた来館者に、永楽館でしか味わうことのできない、観客と俳優の圧倒的な近さと一体感を楽しんでいただく。

1 事業内容

- (1) 公演期間
11月4日（月・振休）～11月11日（月）（8日間）
- (2) 公演回数
15回（1日2回公演 千鶴楽のみ1回公演）
- (3) 会場
豊岡市立出石永楽館
- (4) 内容
片岡愛之助さんを座頭とする上方歌舞伎の公演
- (5) 料金
一般 14,000 円、学生 4,000 円（全席指定）
※学生料金の対象者は、市内在住または市内学校に通学する小・中学生、高校生。



会場前広場の賑わい

2 事業期間

2008年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

90,261 千円



満席の会場

担当課名【出石振興局地域振興課】（内線 5607）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.31	事業名 豊岡アートシーズン2024	2024年度 予算額	9,787 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 「地方はつまらない」という豊岡の固定化されたイメージが変化している。
- 世界的な作品が豊岡で創作、発信されていることで、豊岡に暮らす人々の誇りにつながっている。

《事業目的（趣旨）》

- 市の文化施設や観光資源の特徴を活かし実施している文化芸術事業を「豊岡アートシーズン」という枠組みで一体的に展開することにより、「文化芸術のまち豊岡」のイメージを市内外に発信し、豊岡の魅力と豊岡に暮らすことの価値を高める。
- 子どもたちが豊岡に居ながらにして世界とつながることができ、豊岡でしか体験できない文化芸術事業を通して、豊岡に暮らすことの価値を高めるとともに、豊岡で暮らしたいと考える若い世代を育てる。

1 事業内容

- (1) 市の文化施設や観光資源の特徴を活かし実施している多彩なジャンルの文化芸術プログラムを「Toyooka Art Season 2024（豊岡アートシーズン2024）」として広報
- (2) 市内の小学校2年生全員を対象に、子どもたちの意見を基に議論しながら進む、子ども参加型演劇『サンタクロース会議』公演、6年生全員を対象に、出石永楽館で伝統芸能に親しむ「出石永楽館狂言鑑賞教室」公演及び主に若年層・子育て世代を対象に、アートに親しむイベント「とよおかアート縁日」の開催

2 事業期間

2016年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

9,787千円（文化芸術振興費補助金 補助率：補助対象経費の1/2以内）

<内訳> 豊岡アートシーズン2024広報等 1,637千円
 共通イベント「とよおかアート縁日」 653千円
 子ども参加型演劇『サンタクロース会議』 5,492千円
 出石永楽館狂言鑑賞教室 2,005千円

※豊岡アートシーズン2024参加主要プログラム全体の予算額については、次頁参照

【参考】

＜Toyooka Art Season 2024の主要プログラム＞ ※日程等は変更の可能性あり

No.	プログラム	開催日程	開催場所	所管課
①	とよおかアート縁日	7月20日	豊岡市民プラザ	文化・スポーツ振興課
②	出石永楽館狂言鑑賞教室	12月3・4日	出石永楽館	〃
③	子ども参加型演劇『サンタクロース会議』	11月下旬	江原河畔劇場	〃
④	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「おんぷの祭典」	5月28日～6月2日	市内各所	〃
⑤	おでかけ訪問「能楽講座」	4月～6月	市内各小学校他	〃
⑥	豊岡ブラスフェスタ2024	10月7日	豊岡市民会館	〃
⑦	KIACコミュニティプログラム2024	6月～2025年3月	城崎国際アートセンター他	〃
⑧	KIACレジデンス・セレクション2023→24	9月中旬	城崎国際アートセンター	〃
⑨	小中高生舞台芸術体験講座	5月～11月	豊岡市民プラザ	地域づくり課
⑩	地域と創る演劇「豊岡ここものがたり」プロジェクト	8月～9月	豊岡市民プラザ	〃

※豊岡アートシーズン2024主要プログラム全体の予算額 29,312千円

＜内訳＞ ○数字は上表のプログラムNo.

文化・スポーツ振興課	文化芸術創造交流事業（広報等、①～③）	9,787千円
	子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭開催事業（④）	10,000千円
	市民会館自主事業（⑤・⑥）	977千円
	城崎国際アートセンター事業（⑦・⑧）	4,868千円
地域づくり課	市民プラザ事業（⑨・⑩）	3,680千円

担当課名【文化・スポーツ振興課】（内線2768）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている			
No.32	事業名	子どもたちが豊岡で世界と 出会う音楽祭開催 (豊岡アートシーズン2024参加)	2024年度 予算額	10,000 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちのふるさとや音楽への愛着が育まれている。

《事業目的（趣旨）》

- “世界から豊岡に 本物の響きと感動を 子どもたちへ”というスローガンのもと、子どもたちが、世界で活躍する音楽家と触れ合う機会を通じて、豊岡に居ながら世界とつながることができる、そんな豊岡のまちを誇りに思う子どもを育てるとともに、まちのあちこちで音楽が奏でられ、大人も一緒に楽しむまちづくりを目指す。

1 事業内容

『第10回おんぷの祭典』 5月28日（火）～6月2日（日）の6日間

(1) 企画内容

- ア 子どもたちのためのコンサート（豊岡市民プラザ・未就学児親子向け）
- イ 学校訪問コンサート 小学校1校、中学校7校（学校関係者のみ）
- ウ 街角コンサート 6か所（旧市町単位）
- エ 稽古堂イブニングコンサート（5日間連続開催、演奏者は日替わり）
- オ キッズコンサート・ファイナルコンサート（豊岡市民会館文化ホール）
- カ 公開リハーサル（豊岡市民会館文化ホール）
- キ 楽器ワンポイントレッスン（豊岡稽古堂）

(2) 出演者

- アンサンブル・ウィーン東京（弦楽4名）、シュバシコウ・カルテット（弦楽4名）、こうのとりのクインテット（木管5名）、碓井俊樹 ほか
- ※10回記念として内容の充実を図る予定。
- ※企画内容は調整中のため変更になる可能性がある。

2 事業期間

2014年度～

3 事業主体

子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭実行委員会、豊岡市、豊岡市教育委員会

4 予算額（補助率・負担率等）

10,000千円（文化芸術振興費補助金 補助率：補助対象経費の1/2以内）

担当課名【文化・スポーツ振興課】（内線 2768）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.33 事業名	城崎国際アートセンター運営・事業 (アートマネジメント等業務委託、豊岡アートシーズン2024参加等)	2024年度 予算額	24,174 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 人々が日常の生活の中で芸術文化に親しみ、心豊かな暮らしを楽しんでいる。

《事業目的（趣旨）》

- 芸術文化の国際的戦略拠点として芸術活動を推進するとともに、地域との連携及び情報発信を強化する。
- 専門的な知識を有する人材を配置し、運営体制の強化に努める。

1 事業内容

- (1) 芸術監督等の採用、アートマネジメント等業務の委託【14,418千円】
 - ア 芸術監督 市原 佐都子（非常勤）
 - イ プログラムディレクター、地域連携ディレクター 各1名（業務委託）
- (2) 文化芸術創造交流事業【4,868千円】 ※豊岡アートシーズン2024参加事業
 - ア レジデンスセレクション2023→24
 - (ア) 日時 2024年9月
 - (イ) 場所 城崎国際アートセンター
 - (ウ) 内容 2023年に城崎国際アートセンターで滞在制作を行ったアーティストらによる成果発表公演予定。広くその成果を共有する。
 - イ KIACコミュニティプログラム2024
 - 日本相撲聞芸術作曲家協議会、太田奈緒美、波田野州平
 - (ア) 日時 2024年4月～2025年3月
 - (イ) 場所 竹野地域（予定）
 - (ウ) 内容 各アーティストが、地域の様々な文化・資源や地域住民との関わりを継続・発展させるため、「調査」「記録」「共有」「活用」の4要素を軸に展開するリサーチベースのプロジェクト。
- (3) パフォーミングアーツによる集落活性化業務の委託【4,450千円】
 - 地域の現状と課題を認識し、地区に関心を持ったアーティストの目線を使い、地域資源を活用するなど、課題解決策や、地区の活性化を図る業務を行う。
- (4) 芸術文化情報発信事業【438千円】
 - ウェブサイトの有効運用を継続するとともに、「アートセンター通信」によるさらなる情報発信に努め、KIAC事業の周知及び賛同を呼び掛ける。

2 事業期間

2015年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

24,174 千円

（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：交付対象額の 1/2）

（文化芸術振興費補助金 補助率：補助対象経費の 1/2 以内）

担当課名【文化・スポーツ振興課・城崎国際アートセンター】（32-3888）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている		
No.34 事業名	アーティスト・イン・レジデンス	2024 年度 予算額	12,712 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 世界最先鋭のアーティストが滞在し、豊岡の魅力を世界中に発信している。

《事業目的（趣旨）》

- 公募により選考された国内外からの滞在アーティストが、滞在中に行った芸術文化創作活動を、豊岡・城崎の名と共に国内外で発表するとともに、豊岡・城崎の魅力を世界中に発信していく。

1 事業内容

(1) 2024 年度実施事業

- ア 「アーティスト・イン・レジデンス プログラム」募集・選考【1,257 千円】
滞在アーティストを募集、選考委員会を開催し、年間計画をまとめる。
- イ 地域交流プログラム実施、舞台操作等レジデンス支援【6,930 千円】
滞在期間中に地域住民等との交流活動を実施し、滞在制作の支援を行う。
- ウ アーティスト・イン・レジデンス プログラム事業PR【2,905 千円】
滞在制作及び活動状況PRをはじめ年間プログラムを作成する。
- エ アーティスト・イン・レジデンス活動を通じた国際文化交流促進事業
【1,620 千円】
芸術家等の派遣・招聘により、海外アーティスト・イン・レジデンス施設と交流を図る文化庁助成事業。

(2) 2024 年度アーティスト・イン・レジデンス事業計画

- ア 応募件数、国数 79 件、27 カ国
- イ 選考件数、国数 11 件、7 カ国

2 事業期間

2015 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

12,712 千円（アーティスト・イン・レジデンス国際文化交流促進事業費補助金 補助率：補助対象経費の 10/10）

担当課名【文化・スポーツ振興課・城崎国際アートセンター】（32-3888）

手段	04-03	国内外から優れた人材が集まり、豊岡の魅力を高めている			
No.35	事業名	演劇のまちづくり推進	2024年度 予算額	2,000 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 社会や生活の様々な場面に演劇や演劇的なものの考え方などが染み込んだ「深さをもった演劇のまち」が創出されている。

《事業目的（趣旨）》

- 「深さをもった演劇のまち」創出に向けて、市民をはじめ市内外の方々に演劇を通じて多様性理解を促す機会を提供する。

1 事業内容

(1) 深さをもった演劇のまちづくり推進コーディネーターの配置

深さをもった演劇のまちづくりを推進していくため、コーディネーターを配置し、市民をはじめ市内外の方々へ向けて理解を促す取組みを実施する。

2 事業期間

2020年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

2,000 千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：
交付対象額の 1/2)

担当課名【観光政策課】（内線 2321）

具体的 手段	04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている	2024年度 予算額	10,877千円
-----------	-------	-----------------------	---------------	----------

【対象事業】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
36	専門職大学連携推進	10,877千円	継続
重複	(No.27) 豊岡演劇祭協同開催	(45,327千円)	—
重複	(No.40) 英語教育推進	(14,542千円)	—
合計		10,877千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

手段	04-04	世界の人々と対等に向き合う人材が増えている		
No.36	事業名	専門職大学連携推進	2024年度 予算額	10,877千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 専門職大学で学ぶ若者と地域が一体となって地域課題解決のための連携を加速度的に進め、地域活性化の先進地として全国に波及している。
- 芸術文化観光専門職大学の学生が卒業後も豊岡に住み続けている。
- センスのいいまち、創造的でおもしろいまち、多様な人・物事を受け入れるリベラルなまちへの変化が加速している。

《事業目的（趣旨）》

- 本市における地方創生の大きな推進力として期待される「芸術文化観光専門職大学」と積極的に連携・協働することで、若年層の転出抑制をはじめ、地域産業を担う高度な専門的職業人の育成や地元企業に就職する若者を増やす。
また、大学が有する機能や多様な専門的人材の知識を最大限活用し、協働して地域課題の解決を図るとともに、学生が地域に溶け込み様々な活動を実践、活躍できるよう支援することで、新たな価値の創造や地域への定着を図る。
- 2021年に開学した芸術文化観光専門職大学には全国から毎年約80名の学生が入学し、豊岡で学んでいる。学生に卒業後も豊岡に定住したいと思ってもらうためのきっかけを作る。

1 事業内容

(1) 地域連携事業【10,823千円】

地域リサーチ&イノベーションセンター（RIC）と連携・協働し、地域課題を解決するための取組みを推進する。

ア 豊岡市高大連携事業実施業務

市内の高校生（高等専修学校生、特別支援学校高等部生含む）を対象に、潜在的コミュニケーション能力を引き出すため、コミュニケーションワークショップを実施する。

イ 豊岡市コミュニティ・ツーリズム推進事業実施業務

持続可能な観光地を実現するため、観光コンテンツに健康機能を付加するなど、新たな体験カルチャーとして創出した「ネオカル TOYOOKA」の市場の開拓を行い、市内周遊、長期滞在、リピーター確保につながる仕組みを構築する。

ウ 豊岡市多文化共生推進事業実施業務

外国にルーツを持つ子どもを対象に、自己のアイデンティティの確立を促すとともに、お互いの文化や生活習慣の違いを尊重できる人材を育成するため、母語・継承語（親の母語）、母文化を学ぶ機会を提供する。

エ 豊岡市中学校教育研究会等支援事業

教員の授業力の向上に資するとともに、豊岡市中学校教育の推進に寄与するため、授業を核にした研究を通じた「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う。

オ 出石歴史資料館等活用推進事業検討業務

出石地域の観光施設としての魅力向上と、市民の利活用増加のために、個別施設の具体的な実行活用策を検討する。

カ 八代小学校の小規模特認校化による地域活性化事業

2024年度より小規模特認校となる八代小学校において、特色のある教育の実践や魅力的な地域づくりにつなげるため、コミュニケーションワークショップや八代地区を題材にした演劇等を行う。

キ 子どもの居場所づくりのための意識調査事業 【新規】

コミュニケーションや行動面で日常生活や社会生活に支援が必要な子どもたちが表現活動等を通じて交流できる場を設け、参加している障がい児（日常生活で生きづらさを感じている子ども）とその保護者の意識変化を調査・分析する。また、日常生活で支援が必要な人の居場所づくりのあり方を検討し、さらなる居場所づくりにつなげる。

主要手段 04 豊岡で人々が世界と出会っている

(2) 移住等促進事業【54 千円】

学生が卒業後も豊岡に定住するきっかけ作りとして、市内にてフリーランス等様々な形で働く方との交流会を実施する。

2 事業期間

- (1) 2021 年度～
- (2) 2023 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

10,877 千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：
交付対象額の 1/2）

担当課名【観光政策課】（内線 2321）

具体的 手 段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく 知っている	2024 年度 予算額	4,020 千円
------------	-------	-------------------------	----------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
37	ふるさと教育推進	3,620 千円	継続
38	おっとりっしゃ!とよおかのものづくり	400 千円	継続
合計		4,020 千円	

※重複の予算額は除く

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

手段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている			
No.37	事業名	ふるさと教育推進	2024 年度 予算額	3,620 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ふるさと豊岡と未来の自分について考え、行動できる力を身につけた子どもたちが、ふるさとに愛着と誇りを持ちながら豊岡で夢を実現することや、豊岡に軸足を置き世界規模で物事を考えられている。

《事業目的（趣旨）》

- 一人一人の子どもの夢実現力を高め、小さな世界都市を目指す豊岡の未来を創造する子どもを育成する。このため、系統性と一貫性のあるカリキュラムで実践する「ローカル&グローバル学習の時間」において、「コウノトリ」「ジオパーク」「産業・文化」を共通の学習テーマに位置づけ、豊岡の「ひと・もの・こと」に学び、ふるさと豊岡を自分の言葉で語り誇れる力を育成する。

1 事業内容

- (1) 現地に出向いたり、地域の人とかかわったりして、体験的な活動を行い、豊岡の「ひと・もの・こと」を学習素材とした探究的な学習に取り組む。
- (2) 「ふるさと学習ガイドブック」、DVD「豊岡ふるさと学習、山陰海岸ジオパーク」、DVD「コウノトリと共に生きる」等の映像資料の効果的な活用について実践を積み重ねる。

2 事業期間

2017 年度～

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）
3,620 千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：
交付対象額の 1/2）

担当課名【学校教育課】（内線 2721）

手段	05-01	子どもたちが豊岡のことをよく知っている		
No.38 事業名	おっとりっしゃ！とよおか ものづくり	2024 年度 予算額	400 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 市内のものづくり企業の優れた技術や成長性などが知られ、若者が地元を誇りを持ち、市内の企業で働きたいと考えている。

《事業目的（趣旨）》

- 子ども対象のものづくり体験等を通じ、ものづくりの楽しさや企業に対する興味を持たせ、将来ものづくりに携わる人材の育成につなげる。また、保護者や一般市民に対して、市内ものづくり企業の優れた技術・成長性などを紹介し、市内企業が若者の働く場所となりうることに對する市民の理解を促進する。

1 事業内容

豊岡市工業会が開催する「おっとりっしゃ！とよおかのものづくり」に係る事業費について補助（補助率 2/3）を行う。

- (1) 「おっとりっしゃ！とよおかのものづくり」の開催概要
- ア 子ども向けのものづくり体験やお楽しみイベント
 - イ 会員企業等の製品・技術の紹介を行う企業展示 ほか

▼『おっとりっしゃ！とよおかのものづくり 8』（2023.8.5-6）の様子

2 事業期間

2014 年度～

3 事業主体

豊岡市工業会



4 予算額（補助率・負担率等）

400 千円



担当課名【環境経済課】（内線 2301）

主要手段 05 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

具体的 手 段	05-02	子どもたちが様々なコミュニティの中で役割を果たしている	2024 年度 予算額	— 千円
------------	-------	-----------------------------	----------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
重複	(No.37) ふるさと教育推進	(3,620 千円)	—
合計		— 千円	

※重複の予算額は除く

具体的 手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる	2024年度 予算額	22,627千円
-----------	-------	-----------------------------	---------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
39	コミュニケーション教育推進	508千円	継続
40	英語教育推進	14,542千円	継続
41	非認知能力向上対策	5,371千円	継続
42	英語遊び保育推進	2,206千円	継続
合計		22,627千円	

【事業別の詳細（以下、事業ごとの説明）】 _____

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.39 事業名	コミュニケーション教育推進	2024年度 予算額	508千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 子どもたちが、国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキル（異文化理解能力）を獲得し、対等な関係の中での自己主張と他者理解によって様々な人々と積極的に関わっている。

《事業目的（趣旨）》

- 国際化社会に対応したグローバルコミュニケーションスキルの獲得を見据え、性別や年代を超えて、対等な関係の中で自分を主張し、また他者を理解できる基礎的なコミュニケーション能力を育成する。ローカルなまちである豊岡でグローバル社会に対応できるコミュニケーション教育を、豊岡にいるからこそ受けることができる特色ある教育として行い、その魅力により若い世代の定住促進・Iターンの増加を図り、地域活性化を推進する。

1 事業内容

- (1) すべての小学校6年生と中学校1年生において、演劇的手法を取り入れたワークショップ型、双方向型のアクティブラーニングを用いて体験的に学ぶ総合的な取組みを行う。

主要手段 05 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

(2) すべての学年において、コミュニケーション能力の育成の視点を取り入れた関わりを土台にしながら日常の生活や学習における指導を行い、コミュニケーション能力の育成を図る。また、外部講師を招聘し、指導方法等について指導を受け、授業の充実を図る。

2 事業期間

2015 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

508 千円

担当課名【学校教育課】（内線 2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.40	事業名	英語教育推進	2024 年度 予算額	14,542 千円
				新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- ふるさとのこと、自分のことを英語で語ることのできる子どもが育っている。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡市小中一貫教育の柱の一つとして、小学校 1 年生から外国語指導助手のネイティブな発音に触れる機会を通して、英語遊びから外国語活動、外国語(英語)科へと 9 年間の系統性と連続性のある学習で、英語でふるさとのこと、自分のことを語ることのできる力を高める。

1 事業内容

- (1) 豊岡市英語教育カリキュラムに基づき、授業における効果的な教材活用の仕方等を交流しながら、より実践的な英語教育を実施する。
- (2) すべての小学校に配置している ALT とのティーム・ティーチングを実施し、実際の生活に活用できる英語授業等を行う。（JET プログラム ALT を 10 名、8 月以降は 9 名配置）
- (3) 英語教育推進委員会（構成員 校長 2 名、教職員 10 名）において豊岡市英語教育カリキュラムの見直しと改善を継続して行う。
- (4) 豊岡市立小・中学校教員の授業力の向上を図る研修会（豊岡市英語教育研修会）を実施する。

主要手段 05 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

- (5) イングリッシュ・サマーキャンプ（対象：中学3年生）を実施する。
- (6) 小学校5・6年生対象の指導者用デジタル教科書（教材）を購入する。

2 事業期間
2016年度～

3 事業主体
豊岡市

4 予算額
14,542千円

担当課名【学校教育課】（内線2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる			
No.41	事業名	非認知能力向上対策	2024年度 予算額	5,371 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 「やり抜く力、自制心、協働性」などの非認知能力を高めることで、子どもたちが「自立した大人」へと成長している。

《事業目的（趣旨）》

- 豊岡市としてこれまでから実施している演劇的手法を活用し、小学校低学年の時期から、非認知能力を高めていくことを目指す。

1 事業内容

- (1) 非認知能力向上のための演劇ワークショップの実施
 - ア 市内の小学校1・2年生を対象に、平田オリザ氏監修、わたなべなおこ氏作成のプログラムにより、演劇ワークショップを実施する。
 - イ 指導には、専門性を持つ演劇関係者をファシリテーターとして活用する。
- (2) 教職員対象の研修会を実施し、非認知能力の理解を深め、日々の授業に活用する。

2 事業期間
2019年度～

3 事業主体
豊岡市

4 予算額（補助率・負担率等）

5,371 千円（デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ） 補助率：
交付対象額の 1/2）

担当課名【学校教育課】（内線2721）

手段	05-03	子どもたちが様々な人とコミュニケーションを楽しんでいる		
No.42 事業名	英語遊び保育推進		2024 年度 予算額	2,206 千円 新規 継続 拡大

《目指す将来像（姿）》

- 外国の言葉や文化に興味を持つ子が増えている。
- 喜んで人と関わろうとする子が増えている。
- 自己肯定感を持てる子が増えている。

《事業目的（趣旨）》

- 将来、「小さな世界都市・豊岡」の子どもたちが世界の人々と積極的にコミュニケーションを図ろうとする気持ちや、外国の言葉や文化に興味を持とうとする気持ちの素地を養う。

1 事業内容

(1) 英語遊び指導員による英語遊び保育巡回訪問の実施

英語遊び指導員が各園を訪問し、歌やゲーム、絵本の読み聞かせなどをすべて英語で行う（オールイングリッシュの）英語遊び指導を実施する。

ア 実施対象 市内の幼稚園・保育園・認定こども園（4・5歳児クラス）

イ 実施回数 年間 15 回程度
（2週間に1回程度）

ウ 時間 5歳児・40分、4歳児・30分

エ 指導者 英語遊び指導員 4名

(2) 英語遊び研修会の実施

幼稚園・保育園・認定こども園職員を対象とした英語遊び研修会を開催する。

(3) 英語遊び通信の発行

保護者及び職員向けの英語遊び通信を発行する。



英語で歌ってみる子ども達

主要手段 05 子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている

2 事業期間

2015～2016 年度 6モデル園で先行的に実施
2017 年度～ 市内の公・私立園に展開実施

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

2,206 千円

担当課名【幼児育成課】（内線 2531）

主要手段 06 結婚したいと思う人が結婚できている

具体的 手 段	06-01	若者が集い、交流する場が増えている	2024 年度 予算額	— 千円
------------	-------	-------------------	----------------	------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
重複	(No.13) U I ターン推進 (若者施策)	(3,300 千円)	—
合計		— 千円	

具体的 手 段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実 している	2024 年度 予算額	2,050 千円
------------	-------	------------------------	----------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
43	出会い機会創出 (はーとピー・民間イベント支援)	2,050 千円	拡大
重複	(No.13) U I ターン推進 (若者施策)	(3,300 千円)	—
合計		2,050 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細 (以下、事業ごとの説明)】

手段	06-02	多種多様な出会いの機会が充実している		
No.43	事業名	2024 年度 予算額	2,050 千円	新規 継続 拡大
	出会い機会創出 (はーとピー・民間イベント支 援)			拡大

《目指す将来像 (姿)》

- 婚活応援プロジェクト「はーとピー」(婚活イベント)で出会ったカップルの成婚数が増加している。

《事業目的 (趣旨)》

- 直営でのマッチングイベント「はーとピー」を継続するとともに、民間でのマッチングイベント実施を支援することにより、婚活イベントの回数を増やし、より多くの出会いを創出する。

1 事業内容

市主催の婚活イベント「はーとピー」を実施するとともに、交際期間中の相談に応じる。

また、出会いのイベント回数を増やすため、飲食店等が主催するマッチングイベントに対する支援を行う。

(1) 婚活イベントの開催

ア 直営によるマッチングイベント「はーとピー」 年間 12 回

イ 飲食店等が主催するイベント 年間 5 回程度 (1 回につき 5 万円を上限に補助)

(2) マリッジアドバイザーが行うアフターフォロー

イベントカップルの交際フォロー、相談業務

主要手段 06 結婚したいと思う人が結婚できている

(3) 地域プロジェクトマネージャーの任用

地域プロジェクトマネージャーを任用し、縁結び事業への登録者を増やすことやお見合い事業でのデジタルの活用、広域連携、相談体制の強化など持続可能な結婚支援体制の検討と試行的な事業を行う。

※事業実績

2013～2023 年度（1 月末現在）累計

126 回開催、参加者 2,943 人、548 カップル成立、成婚 67 組

2 事業期間

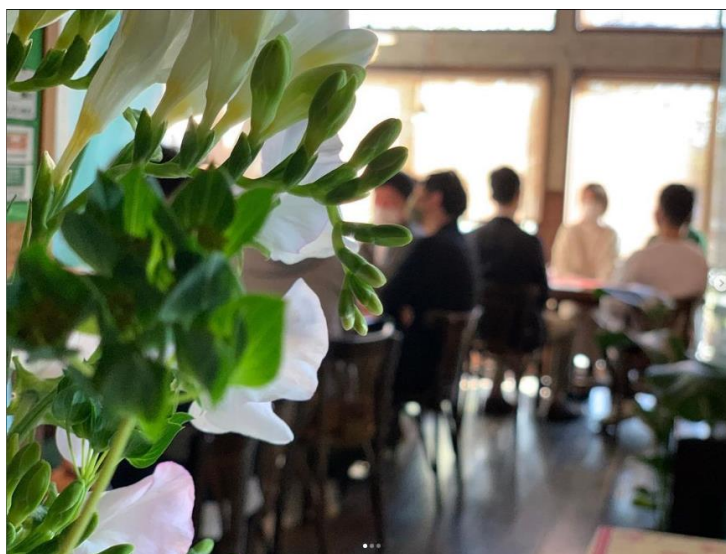
2019 年度～

3 事業主体

豊岡市

4 予算額

2,050 千円



担当課名【地域づくり課】（内線 2781）

具体的手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している	2024年度 予算額	2,584 千円
-------	-------	--------------------------------	---------------	----------

【対象事業一覧】

事業No.	事業名	予算額	区分(新規・継続・拡大)
44	お見合い推進(縁むすびさん)	2,584 千円	継続
重複	(No.13) UIターン推進(若者施策)	(3,300 千円)	—
重複	(No.43) 出会い機会創出 (はーとピー・民間イベント支援)	(2,050 千円)	—
合計		2,584 千円	

※重複は合計から除く

【事業別の詳細(以下、事業ごとの説明)】

手段	06-03	交際・結婚に向けた独身者へのきめ細かな支援体制が充実している		
No.44 事業名	お見合い推進 (縁むすびさん)	2024年度 予算額	2,584 千円	新規 継続 拡大

《目指す将来像(姿)》

- お見合い事業に登録する方が増え、成婚数が増加している。

《事業目的(趣旨)》

- 市民がボランティア仲人「縁むすびさん」としてご縁を取り持つことにより、成婚数の増加を目指す。

1 事業内容

- (1) 「縁むすびさん」の仲介による登録者同士のお見合い実施
縁むすびボランティア及び事務局にて1対1及び複数でのお見合いをセッティングする。
- (2) 「縁むすびさん」のモチベーション向上支援
ア 縁むすびボランティアが成婚に導いた際に報酬金を支給する。
イ 専門家を招聘し、縁むすびボランティアを対象としたセミナーを実施する。

※2023年度事業実績(2024年1月末現在)

- ① 縁むすびさん 63人(男性25人、女性38人)
- ② 登録結婚希望者 306人(男性194人、女性112人)
- ③ お見合い数 延べ183回
- ④ 成婚実績 8組

主要手段 06 結婚したいと思う人が結婚できている

- (3) お見合い事業の登録者を対象に月1回程度、カメラマンによるプロフィール写真の撮影をする。併せて美容師による髪型アドバイスやセット、コミュニケーションスキルのある方にアドバイスをもらう等、登録者の自信に繋げ、お見合いから交際へのステップを支援する。

2 事業期間
2017年度～

3 事業主体
豊岡市

4 予算額
2,584千円



担当課名【地域づくり課】（内線2781）